

第 5 次草津市総合計画の策定に向けて

【平成 21 年度 報告書】



草津市総合計画策定市民会議

平成21年12月

はじめに

草津市総合計画策定市民会議は、市民参加による自由な意見交換を行って、第5次草津市総合計画のもととなる市民の声を広く求める場として設置されました。

平成20年8月に第1回会議以来、昨年度に8回、平成21年12月までにあわせて13回もの会議を開いて、市職員の方々といっしょに有意義な意見交換を行ってきました。この度、平成21年度における取り組みが終了したことから、ここに「平成21年度報告書」としてとりまとめています。

昨年度は、地域の身近な課題や問題意識を丁寧にひろいあげて、そこからまちづくりのための様々な取り組みを提案し、今年度は、総合計画の基本計画に盛り込むための「成果指標」と市民や地域などの「行動指針」について詳細に検討してきたところです。

50項目余りに及ぶ基本計画の各行政分野のすべての基本方針ごとに、その目標とするところ、行政、市民や地域、事業所等のそれぞれの立場で行動していく内容などについて、市民と行政がいっしょになって熱のこもった意見を交わしました。

このようにして、計画の元となる内容を作り上げたことは、非常に有意義であると同時に、草津市にとって、まさに画期的な取り組みであったことと思います。今後、当会議の取り組み結果が十分に受け入れられて、よりよい草津市のまちづくりに結びつく総合計画が策定されること、また、計画策定後であっても、市民と行政の約束事としての成果指標等が有効に活用されることを願っております。

草津市総合計画策定市民会議 代表 大田 信光

目次

はじめに

1. 意見交換の概要.....	4
2. 意見交換の結果.....	5

資料編

1. 意見交換の概要

- 市民と行政の協働を重視して、市内で活動する各種団体代表や市民公募による委員で構成する当会議と、市の職員で構成するプロジェクトチームが同じ立場で意見交換を行った。
- 昨年度に引き続き、以下の4部会によるグループワーク、また、要所における全体協議を行った。

第1部会：安心・安全、人権、環境	第2部会：健康・福祉、教育文化スポーツ
第3部会：都市基盤	第4部会：協働

- 各担当課から仮提案された施策の成果指標・各主体の行動指標をもとに、それぞれの内容を詳細に検討し、市民会議としての意見を取りまとめた。
- 市民会議意見を踏まえた各担当課からの再提案を確認・検討し、市民会議による報告として取りまとめた。

■ 各会議の内容

	開催日	概要	
第9回	6月28日(日)	○総合計画基本構想案について ○今年度の取り組みについて ○その他 草津のこれからの10年を考えるフォーラムについて	全体会
第10回	9月15日(火)	○成果指標・行動指標についての意見交換 第2部会：教育・青少年、生涯学習・スポーツ	部会
	9月16日(水)	○成果指標・行動指標についての意見交換 第1部会：人権、男女共同参画 第3部会：住宅・住生活、道路・交通 第4部会：コミュニティ・市民自治	
第11回	10月5日(月)	○成果指標・行動指標についての意見交換 第1部会：生活安心、防犯・防災 第2部会：市民文化、子ども・子育て 第3部会：上下水道、農林水産 第4部会：健康保険、行財政マネジメント	部会
第12回	10月20日(火)	○成果指標・行動指標についての意見交換 第1部会：環境 第2部会：長寿・生きがい、障害福祉 第3部会：商工観光 第4部会：情報・交流、うるおい・景観、地域福祉	部会
第13回	12月7日(月)	(予定) ○平成21年度報告書の取りまとめについて ○市民会議結果に対する市の対応(再提案)について	全体会

2. 意見交換の結果

第5次草津市総合計画体系表

出会いが織りなすふるさと“元気”と“うるおい”のあるまち 草津	まちづくりの基本方向 (4)	分野 (21)	基本方針 (55)	
	「人」が輝くまちへ	人権	人権文化の醸成 人権の擁護	
		男女共同参画	男女共同参画社会の構築	
		教育・青少年	学校教育の充実 教育環境の整備 青少年の健全育成	
		生涯学習・スポーツ	生涯学習施設の整備・充実とネットワーク 生涯学習活動の振興 地域学習社会の形成 市民スポーツの振興	
		市民文化	市民文化の醸成 歴史資産の保全と活用	
	「安心」が得られるまちへ	子ども・子育て	母子保健等の充実 就学前教育・保育の充実 放課後児童対策の充実 地域ぐるみの子ども・子育て支援	
		長寿・生きがい	いきいきとした高齢社会の実現 あんしんできる高齢期の生活への支援	
		障害福祉	障害のある人の生活支援 障害のある人の社会参加の促進	
		地域福祉	「地域力」のあるまちづくり	
		健康・保険	市民の健康づくり 医療保険制度等の適正運用	
		生活安心	生活安定への支援 暮らしの安心の確保 火葬場・墓地の適正管理と公衆衛生の向上	
		防犯・防災	災害に強いまちづくり 犯罪のないまちづくり 治水対策	
		「心地よさ」が感じられるまちへ	うるおい・景観	やすらぎ・憩いの環境づくり 良好な景観の保全と創出
			環境	人と自然との共生した環境づくり 環境学習の充実 地球温暖化対策への貢献 資源循環型社会の構築と廃棄物の処理 環境汚染・公害への適切な対策
			住宅・住生活	住まいと住生活の魅力向上 “まちなか”の魅力向上
	上下水道		水の安定供給 汚水の適正処理	
	道路・交通		安全で快適な道路づくり 公共交通体系の充実 バリアのないまちづくり	
	「活気」があふれるまちへ		農林水産	農業の振興 水産業等の振興
			商工観光	商業の振興 工業の振興 観光の振興 勤労者への支援
		コミュニティ・市民自治	地域コミュニティ活動の活性化 市民活動の活性化 市民まちづくり支援体制の充実	
		情報・交流	まちづくり情報の提供の充実 多様な交流活動の展開 大学などを生かしたまちづくりの展開	
		計画の推進	分野 (1)	基本方針 (2)
			行財政マネジメント	市民から信頼される市政運営 行財政資源の有効活用

【人権】

人権文化の醸成		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		高い人権意識を持つ市民が増える！	幅広い交流をする人が増える (差別について) ”そんなことアカン”と皆が言える 皆が笑顔でいられる社会 災害時に近所の助け合いがある	人権と人の多様性を尊重する人が増える！	結果としては幅広い交流になるが、その前提となる「人権」と「多様性尊重」を追加する。 代表値として選択。
成果指標		市民意識調査	人権に関する集会の数が減る “エコ家族”のような、“人権家族”が増える	市民意識調査	集会の数が減ることは、成果があったということか？成果があがっても、集会は続ける。 ・町内学習懇談会の開催回数は微増 ・研修回数、参加者数は、完全な成果指標とはなりません。 人の態度や考え方をデジタル化することができませんが、人権家族が増えるように啓発を工夫していきます。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 市民に人権の大切さを学んでもらえる機会を提供します 市民に平和の尊さを再確認してもらえる機会を提供します 同和問題の解決をはじめとした、人権を尊重するまちづくりを進めます 差別を解消する取り組みを推進します	施策展開において 分野の垣根(固定観念)を取り除く 人権関連の施設・設備を市民が使いやすいようにPRする “人権家族”制度をつくる 人権について地域の人が集まって話ができるようなきっかけづくり 人権について楽しく(茶会、飲み会など)話ができる場の設定 父親が参加しやすいような学習会の設定	施策展開において 偏見や固定観念を取り除き、差別解消など人権・同和問題の早期解決を図ります。 人権関連の施設・設備を、すべての市民が利用しやすいよう、PR等を行っていきます。 人権や平和の大切さを学んでもらえる、学習会等の機会をつくっていきます。	分野の垣根(固定観念)を取り除く方向性は必要です センターの利用は、年間7,500人程度あります。 啓発、教育事業の実施手法の一として検討に含みます。 市内一円で、学区別研修会、町別懇談会を推進しています。 市内一円の町別懇談会では、話し合いが行われています。世代を超えて人権・同和問題についての研修をする三世代輝きのつどいなどを推進します。 市内一円の町別懇談会は、休日や夜間に行われています。
	協働推進のために	協働推進のために	協働推進のために	協働推進のために	
市民・地域の行動	各種の啓発事業に積極的に参加します 日常生活において、人間の尊厳を守ります 人権への関心を高める取り組みに参加します	まずは家庭から、ということで、家庭における取り組みを増やす 若い世代への伝統・文化継承 分野の垣根(固定観念)を取り除く	家庭生活をはじめとして、地域における日常生活で互いの人権を尊重します。 若い世代に対して、地域の伝統と人権文化を継承していきます。 各種の人権啓発事業や人権への関心を高める取り組み等に積極的に参加します。	人権の他事業との連携、協調は大事であります。 市内一円の町別懇談会の推進は、家庭への浸透に効果があります。	

【人権】

協働のあり方	事業者等の行動	事業者等	事業者等	事業者、企業・大学・学校	大学や学校、企業において、多文化共生をめざした人権教育を支援センターとの連携を図り、推進します。 企業同和教育推進協議会中心に推進しています。
		各種の啓発事業に積極的に参加します		各種の人権啓発事業や人権への関心を高める取り組み等に積極的に参加します。	
		組織内で人権(同和)教育を推進します	企業・大学 多文化共生社会の推進	多文化共生社会づくり推進に寄与します。 組織内における人権(同和)教育を推進します。	
その他			例えば、人権センター等の施設を市民が使用する場合に、人権に関する内容のみ使用できることについて、内容を幅広く捉える “エコ家族”とは、環境にやさしい生活習慣(エコライフ)を身につけるために、家族が目標を決めて協力して取り組む滋賀県のプログラム。その“人権”版があると仮定した場合 現況として、施設・設備についてPRがいきわたっていない 現況は母親の参加が多いため 伝統・文化の中に、人権にまつわる内容が含まれていることがあるため、それを継承していく必要がある		施設を利用できる場合は、人権に関する内容のみが使用できるものではありません。人権センターは、人権に関する利用が原則ですが、以外の使用も有料で認めています。 啓発、教育事業のユニークな実施手法として、今後の取り組みにおいて検討に含めます。 センターは貸し館のほか、図書やビデオなどの貸出をしています。一定の利用はあります。 父親や10代の参加者が比較的少ない状況ですが、母親が多いとは言えません。 伝統文化の継承に取り組んでいる団体がセンターを利用しています。

【人権】

人権の擁護		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		人権相談に訪れた人の困りごとが解決する！	問題を抱えた全ての人の話を聞ける場がある	人権相談に訪れた人の困りごとが、すみやかに解消(軽減)する！	「相談の場」は既にあるため、その活用や機能の面での目標とします。
成果指標		人権相談件数で解決した割合	相談件数が増える	人権相談で解決または軽減された割合。	件数増は人権相談の周知度を示すが、反対に人権侵害の事案の増加を示す。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 人権相談など、人権擁護の取り組みを行います	施策展開において 気軽に相談ができるような場づくり	施策展開において 人権相談を、今以上に誰もが利用できる場としていきます。	常設の相談員、人権擁護推進員ならびに弁護士相談にも対応しています。 ・人権センターには人権以外の相談もあり、他の機関を紹介するなどにより対応している。 ・毎月くさつ広報に掲載しています。
			相談機関のPR	人権相談に関する機関等のPRを行います。	
		協働推進のために	協働推進のために	協働推進のために	
	市民・地域の行動	人権侵害に気づき、擁護の手をさしのべます	地域の人が集まる機会(運動会・夏祭り・災害マップづくり等)を生かして、相談体制の確認	地域の人が集まる機会を生かして相談体制を確認します。	
			気軽に相談ができるような場づくり	身近な地域で相談ができるような場と人的ネットワークをつくっていきます。	
	事業者等の行動	事業者等	事業者等	事業者等	
企業活動に於ける様々な人権問題を解決するため、企業内学習会を開催します 組織内に人権相談の窓口を設置します		気軽に相談ができる場づくり	組織内に、気軽に相談ができるような場をつくとともに、必要時に各専門機関等へ確実につないでいきます。		
その他			既存の相談機関では、相談しづらく感じる人もいるため「すべての人が」とした。また「問題が解決」までは行かなくても、話を聞くだけでもよい場合もあるので、「話を聞ける場がある」とした。 気軽に相談ができるようになれば、件数が増えるはずである		相談機関のPRにおいて、「気軽に」を強調します。 相談員やセンターは、心得るようにしています。

【男女共同参画】

男女共同参画社会の構築		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明	
目標		男女間の平等意識が高まる！	垣根に捉われない人が増える ワークライフバランスを皆が意識する 人権意識が高まる	男女がともに喜びと責任を分かち合える		
成果指標		市民意識調査 (数値目標)	出生率の向上 産休を取る人(男女とも)が増える	「男は仕事、女は家庭」と考える市民の割合が減る	草津市男女共同参画推進計画で扱う数値目標を使用する	
協働のあり方	行政の行動	施策展開において	施策展開において 男女共同参画について気軽に話ができるような機会をつくる 悩みを持つ人が気軽に相談に行ける機関のPR 待機児童が減るような、保育機関の整備	施策展開において 男女共同参画について気軽に話ができる、相談ができる場と機会を充実させていきます。 男女不平等などに関する悩みを持つ人が気軽に相談に行ける機関のPRを行います。	保育に係る内容は、「子ども・子育て」の分野において含めることとします。	
		協働推進のために 基本理念を掲げ、男女共同参画社会を実現していくために市民などから意見を取り入れ、関係者と協働して取り組みます。	協働推進のために 全ての人がワークライフバランスを実現できるような制度づくり	協働推進のために 地域活動において男女がともに参画し、方針決定できるよう啓発活動、研修会等を実施します。		
		市民・地域の行動	男女共同参画についての理解を深め、あらゆる分野において男女共同参画の推進に努めます。	男女共同参画について気軽に話ができる機会をつくる		男女共同参画について学び、気軽に話ができる機会をつくり、推進していきます。
		事業者等の行動	事業者等	事業者等 全ての人がワークライフバランスを実現できるような制度づくり 産休を取りやすい風土づくり		誰もがワーク・ライフ・バランスについての自己選択・決定ができるよう、柔軟な就業条件づくりを進めていきます。 育休・介護休暇を取りやすい風土と仕組みをつくっていきます。
その他			現況は男女ともに産休をとりづらい風土がある 人権意識が高まれば、男女共同参画の意識も一緒に高まる	現況は男女ともに育休・介護休暇をとりづらい風土がある		

【教育・青少年】

学校教育の充実		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		草津の子どもは学校が好きである！	学力が向上している (学校環境が良くなれば、落ち着いて学習することができるため) 学校が好きで、通うのが楽しい	草津の子どもは学校が好きである！	学力向上という言葉で知的理解のみを重視するという誤解をあたえやすいため。
成果指標		アンケート:児童生徒の満足度	不登校の児童生徒の減少	アンケート:児童生徒の満足度	
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 教員が子ども一人ひとりと向き合う環境づくりを推進します。 子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保する学校づくりのための取り組みを推進します。 教員の教育相談力や授業力の向上を図る教育を推進します。	施策展開において	施策展開において 教員が子ども一人ひとりと向き合う環境づくりを推進します。 子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保した学校づくりを推進します。	
	市民・地域の行動	「早寝、早起き、朝ごはん」や「あいさつ」などの基本的な生活習慣をつくりまします。 学校支援ボランティアとして学校教育に協力します。	地域が子供に遊びや技を伝承する	「早寝、早起き、朝ごはん」や「あいさつ」などの基本的な生活習慣をつくりまします。 学校支援ボランティアとして学校教育に協力します。	
	事業者等の行動	大学・企業等 学校と連携を図り、自らの専門性を教育の場に生かします。	大学・企業等	大学・企業等 学校と連携を図り、スペシャル授業などにおいて自らの専門性を教育の場に生かします。	

教育環境の整備		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		子どもの学習環境が充実している！	学校が好きで、通うのが楽しい	子どもの学習環境が充実している！	「成果指標」や「協働のあり方」と「目標」が合致しないのでは？ 市民会議意見は、ハード面、ソフト面両面を含めた全体の目標であると思う。
成果指標		学校施設整備計画に基づく進捗率	児童生徒の満足度	学校施設整備計画に基づく進捗率	
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 各教育施設の計画的な維持管理・更新・充実を図ります。	施策展開において	施策展開において 各教育施設の計画的な維持管理・更新・充実を図ります。	
	市民・地域の行動	各教育施設を大切にし、学校教育の場として、また、地域の資源として、有効に活用します。		各教育施設を大切にし、学校教育の場として、また、地域の資源として、有効に活用します。	
	事業者等の行動				

【教育・青少年】

青少年の健全育成		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		それぞれの地域で青少年が健全に育っている！	青少年が地域の人と協調している 青少年が地域の人とあいさつをしてい	青少年が地域の中で健やかに成長している。	地域の人に、青少年も含まれるため、表記を変更する。
成果指標		補導青少年数の割合(%)	補導や青少年犯罪などの、マイナス事象の減少	補導青少年数の割合(%)	マイナス事象の例として、計上する。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 青少年にとって有害な社会環境を浄化し、適切な相談体制や育成支援を行うことにより、青少年の健全育成を図ります。	施策展開において	施策展開において 青少年に有害な環境を浄化し、相談・育成支援・啓発等の活動により、その健全育成を図ります。	啓発活動についても、追加する。
	市民・地域の行動	地域の大人は、青少年の健全育成に努めます。	あいさつ運動の推進 地域に協調できるようなきっかけづくり 親が地域に溶け込めるようにサポート	地域で青少年を見守り育てる意識を高めるため、あいさつ運動を展開していきます。 日頃から地域コミュニティの活性化に努め、青少年を含め、地域住民が地域の行事に参加しやすいよう図っていきます。	あいさつ運動により、青少年の見守りを推進するとともに、地域の行事を通して、地域コミュニティの推進に努める。
	事業者等の行動	大学・企業等 青少年の健全育成を図るため、家庭、学校、地域、企業や関係機関等が連携を密にし、活動を進めます。	大学・企業等	大学・企業等 家庭・学校・地域・企業や関係機関等の連携を、いっそう強めて青少年の健全育成を図ります。	

【生涯学習・スポーツ】

生涯学習施設の整備・充実とネットワーク		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		拠点施設を生かして、生涯学習活動がしやすくなる！	(素案に対して)やわらかい表現が望ましい	いつでも誰でも楽しく集って学べる！	いつの世代でも、自己にあった学習ができることが、生涯学習である。
成果指標		事業参加者数	各施設の利用者数の増加	事業参加者数	利用目的を生涯学習活動に限定した方がよいと考えます。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において文化活動拠点を整備します。社会教育関係団体に対する支援を行います。	施策展開において	施策展開において文化活動拠点を整備します。社会教育関係団体に対する支援を行います。	
		協働推進のために文化芸術団体との調整を行います。	協働推進のために	協働推進のために文化芸術団体間の調整を行います。	
			企業による社会貢献活動を、市民に情報提供する窓口となる	生涯学習、文化芸術、社会教育の情報提供の充実に努めます。	企業に限らず、地域社会の一員であるという自覚と社会貢献は、協働社会を推進していく上で重要であることから、行政が企業等に働きかけ、情報を収集し、広く発信することは必要なことと考えます。
	市民・地域の行動	生涯学習に関する地域の資源を有効に活用します。		生涯学習に関する地域の資源を有効に活用します。	
事業者等の行動		事業者 クラブ活動の場・社会見学の機会等のサービスを市民へ提供 社会貢献活動として、施設を活用した企画の実施	事業者 自らの施設、技術・知識、人材資産を地域へ還元します。		

【生涯学習・スポーツ】

生涯学習活動の振興		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		生涯学習活動を楽しむ市民が増える！	(素案に対して)やわらかい表現が望ましい	暮らしの中で「学び」を楽しむ市民が増える！	「やわらかい表現」としました
成果指標		講座の受講生の増加(立命館びわこ講座受講者)	生涯学習手帳の発行数増加 ゆうゆうびとバンクの登録者数の増加	生涯学習手帳の発行数	
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 学習の機会の提供が更なる学びへの契機となるよう努めます。 学びや経験、技術を生かす場の提供を図ります。	施策展開において	施策展開において 学習の場と機会の提供がさらなる学びへの契機となるよう努めます。	
		協働推進のために	協働推進のために 公共交通の利便性向上による移動手段の増加(現況として、生涯学習を行いたくても、バス等の公共交通の利便性が低いため移動手段が限られ、参加機会が制限されているため)	協働推進のために 身近な施設生涯学習活動が展開できるよう図っていきます。	身近な学習機会の充実について加筆いたしました。
			生涯学習活動が活発化するようにインセンティブを与える(ポイント制による優待等)	学ぶことの楽しさ大切さについての啓発を行うとともに、学習成果や経験・技術を生かす場の提供を図ります。	生涯学習へのインセンティブとしては、優待制度より、学ぶことの喜びや生きがいとの結びつきを考えております。
	市民・地域の行動	学びを通じ多種多様な知識を身につけ、心豊かな生活を実現します		学びを通じて様々な知恵や知識・教養を身につけ、心豊かな生活を実現します。	
	事業者等の行動	企業、大学 草津市生涯学習大学への支援・援助をします	企業、大学 公共交通の利便性向上による移動手段の増加(現況として、生涯学習を行いたくても、バス等の公共交通の利便性が低いため移動手段が限られ、参加機会が制限されているため)	企業、大学 草津市生涯学習大学への支援・援助をします。	公共交通の利便性については「道路・交通」における対応とします。

【生涯学習・スポーツ】

地域学習社会の形成		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標	子どもと大人の協働による地域活動が活性化する！		世代間コミュニケーションが図れている	世代の交わりのもとで地域の学びが深まる！	生涯学習の観点からコミュニケーションを学びに変更する。
成果指標	事業の参加人数		市民意識調査(データブック2008より)の調査項目を増やして、より詳細に調査をする	市民意識調査	市民意識調査により、事業の参加度を計る。
協働のあり方	行政の行動	協働推進のために 地域協働合校のコーディネートの充実を図るとともに、共育ちの理念に基づく事業を展開します。	協働推進のために	協働推進のために 地域協働合校のコーディネートの充実を図るとともに、「共育ち」の理念に基づく事業を展開します。	
	市民・地域の行動	子どもを含めた地域の生涯学習を市民主導で進め、子どもと大人の協働を通して、子どもの健全育成と、市民によるひとづくり・まちづくり体制を整備します。	文化・伝統の継承	文化・伝統の継承など各地域の特色を活かしながら、世代を超えて学びを深め、主体となってひとづくり・まちづくりを進めます。	各地域の特色を活かしながら、文化・伝統等の継承を含め、地域によるひとづくり・まちづくりを進める。
	事業者等の行動	企業、大学 より専門性の高い地域協働合校の事業展開に寄与します。	企業、大学	企業、大学 より専門性の高い地域協働合校の事業展開に寄与します。	

市民スポーツの振興		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標	スポーツを楽しむ市民が増える！		スポーツを楽しむ市民が増える！(素案まま)	スポーツを楽しむ市民が増える！	
成果指標	スポーツに親しむ市民の割合		各種団体(ゲートボール・体育協会・歩こう会・地域総合型スポーツ団体等)の加入者数増加 体力測定結果の向上	スポーツに親しむ市民の割合	各種団体への加入者に限定しない方が好ましいと考えます。 信頼性の高い結果を得られる各年齢層の体力測定を行うのは困難であると考えます。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 各種スポーツ行事の実施や施設の整備など、市民がスポーツをするうえでの環境整備を行います。	施策展開において スポーツ保険制度の構築	施策展開において 各種スポーツ行事の実施や施設の整備など、市民がスポーツを楽しむための環境整備を行います。	スポーツ保険制度は既に構築されています。
	市民・地域の行動	自分に合ったスポーツを見つけ、継続して行うことで、健康増進を図ります。		自分に合ったスポーツを見つけ、継続して行うことで、健康増進を図ります。	
	事業者等の行動	企業、大学 より専門性の高い知識や技術を地域へ還元できる事業展開を図ります。	事業者 施設・整備の市民への提供 スポーツイベントへの協賛 地域イベントへの参加	大学、事業者 より専門性の高い知識や技術を、地域のスポーツ活動に還元できる事業展開を図ります。 スポーツイベントへの協賛、地域イベントへの参加を進めます。	事業者の行動について、加筆しました。

【市民文化】

市民文化の醸成		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標	文化・芸術に親しむ市民が増える！		皆が文化のまちづくりに参加している 新旧の住人が一緒に文化のまちづくりに参加している	みんなが文化を通じたまちづくりに参加している！	新旧の住人という間柄に限定せず、広く多くの方々を対象とする
成果指標	市民音楽祭等文化行事・催事の参加者数	文化・芸術の作り手(仕掛ける側)の人数(参加するだけでなく、一緒に作り上げることで市民意識がより高まる)	文化・芸術の作り手(仕掛ける側)の人数(参加するだけでなく、一緒に作り上げることで市民意識がより高まる)	市民音楽祭等文化行事・催事の参加者(発表者・出品者・鑑賞者)数	参加者(発表者・出品者・鑑賞者)という形で表現する。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 優れた芸術文化とのふれあいをはじめ、市民が自主的に参加できる機会の充実を図ります。 市民の方の日々の創作活動の奨励と発表・展示・鑑賞の機会と場の提供を図ります。 俳句のまちづくり事業を展開していきます。 協働推進のために	施策展開において 協働推進のために 文化のまちづくりコーディネーターとして、市民と一緒に作り上げる 文化施設を管理するだけでなく、文化醸成のネットワークの中心となる	施策展開において 優れた芸術文化とのふれあいをはじめ、市民が自主的に参加できる機会の充実を図ります。 市民の方の日々の創作活動の奨励と発表・展示・鑑賞の機会と場の提供を図ります。 俳句のまちづくり事業を展開していきます。 協働推進のために 優れた芸術文化とのふれあいの場や、市民が自主的に文化に親しむ機会などをつくる、“文化のまちづくり”のコーディネーターの役割を、市民とともに担います。	文化のまちづくりを市民とともにコーディネートしていくことを加筆する。
	市民・地域の行動	文化活動の主役・担い手として、積極的な文化活動を展開します。 積極的な創作活動を行い、手作りの文化・芸術事業に参画します。 俳句に対して興味・関心を持ち、身近なものとして親しむ心を育みます。	文化芸術に草津らしさを取り入れる	文化・芸術活動の主役・担い手として、草津らしさを取り入れた活動を展開します。 創作活動を積極的に行い、様々な文化・芸術の催しに参画します。 俳句に対して興味・関心を持ち、身近なものとして親しみます。	「草津らしさ」という文言を加筆
	事業者等の行動	生涯学習活動を楽しむ市民が増える！ 自らの文化活動を期待するとともに、市民の文化活動の場の提供や、文化事業に対する協賛などの支援を期待します。 事業者等 中心となって、市民文化を醸成するネットワークの充実に努めます。	事業者 事業者等	事業者 自ら主体となって、文化・芸術活動に取り組みます。 市民の文化・芸術活動の場の提供や、文化・芸術の催しへの協賛等を行います。 事業者等 本市の文化・芸術活動の中心となって、市民文化を醸成するネットワークの充実に努めます。	

【市民文化】

歴史資産の保全と活用		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		文化財を大切にすることを意識が広がる！	歴史資産の保全と活用に関わる人が増える 文化財に興味を持つ人が増える 興味を持ってもらう機会が増える	文化財への興味や理解を持つ人が増える！	動機付から一段進んだ状況を望む。
成果指標		文化財を大切に考える市民の割合	歴史遺産の保全と活用の成果公表の機会 展示を見に来た人の数 歴史資産の保全と活用に協力する市民の数	展示や行事に参加した人の数	展示のみではなく行事参加者数も加えた。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 保存修理や保存整備を計画的に進めます。 文化財等に関する情報提供や文化財等に親しむ機会をつくります。 協働推進のために	施策展開において 協働推進のために 学区の祭りなどに出張 興味を持つ人が増えるような企画をする 講座・講習会等の参加費を低くして間口を広げる	施策展開において 文化財の種類・性質に応じた保存修理や保存整備を計画的に進めます。 協働推進のために 様々な人が自らの興味や関心に応じて、文化財等に親しむことができる多様な機会をつくります。	文化財を後世に伝えるためには、適切な保存が必要なため。 文言を整理した。
	市民・地域の行動	さまざまな歴史資産を市民の貴重な財産として常に意識し、棄損や盗難がないか見守ります。 歴史や地域学習の教材として活かします。 各種の調査文化財等の保存・継承に積極的に協力します。	市民(個人や寺院など)が安全に管理できない場合は市・県等で公開できるように協力する	様々な歴史遺産を市民の貴重な財産として常に意識し、大切に保存していきます。 歴史や地域学習の教材として文化財等を活かします。 各種の調査、文化財等の保存・継承に積極的に協力します。	文言を整理した。
	事業者等の行動	開発事業者等 埋蔵文化財の取扱いについては事前に協議し、調査など文化財の保護に協力します。 開発事業者等	大学等 大学機関などの専門家が、市民が興味を持てるように紹介する 開発事業者等	大学等 市民が文化財等に興味を持てるよう、専門の立場からその魅力を紹介します。 開発事業者等 埋蔵文化財の取扱いについて事前に市と協議し、調査など文化財の保護に協力します。	

【子ども・子育て】

母子保健等の充実		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		子育てに不安を感じる人が少なくなる！	安心して親子が生活ができる ソフト・ハード面の支援が行き届いている	子育てに不安を感じる人が少なくなる！	子育てに不安を感じる人が少なくなるよう相談しやすい事業を展開していきます。
成果指標		すこやか訪問の利用率	夜間診療の病院が増える	すこやか訪問の利用率	子育てに不安を感じる人が少なくなるよう相談しやすい事業を展開していきます。
協働のあり方	行政の行動	<p>施策展開において</p> <p>子どもと養育者の心身の状況および養育状況の把握とともに育児等にかかる必要な相談や援助、情報提供等を行います。</p>	<p>施策展開において</p> <p>親が相談できる機関の充実</p> <p>すぐに病院にいかないよう、病院のかかり方を学習する(軽症の場合でもかかる人が多く、本当に診療が必要な人に行き届かないため)</p> <p>発達障害等の障害を早期に見出せるような支援</p>	<p>施策展開において</p> <p>子どもと養育者の心身の状況および養育状況の把握とともに育児等にかかる必要な相談や援助、情報提供等を行います。</p> <p>支援の必要な親子について、継続的に支援していきます。</p> <p>民生委員児童委員、健康推進員および地域住民等が協働できるよう情報提供等をしていきます。</p>	<p>県の#8000番などの事業が行われています。</p> <p>乳幼児健診等の事業を充実して、発達障害等の早期発見に努めていきます。</p>
	市民・地域の行動	<p>「すこやか訪問」等も利用し、不安や心配事の解消を行い、得た情報をうまく子育てに生かします。</p> <p>民生委員児童委員、健康推進員および地域住民等</p>	医療機関	<p>「すこやか訪問」等も利用し、不安や心配事を解消して、得た情報をうまく子育てに生かします。</p> <p>地域で子どもを見守るという意識を持ち、相談・助言しやすい関係をつくります。</p>	医療機関は治療が本分であるため、子育ての相談の中で行動してもらおう団体ではないと考えます。
	事業者等の行動	子育ての現状を理解し、必要に応じて協力をを行います。	地域の診療所が夜間診療をする(現況では大病院のみ夜間診療のため、混雑して本当に診療を受けたい人が受けられない)	子育ての現状を理解し、必要に応じた協力をを行います。	適正な医療の利用方法の中で、取り組んでいます。

【子ども・子育て】

就学前教育・保育の充実		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		子育て支援事業への参加が増える！	安心して子どもが預けられる	安心して子どもを預けられる！	
成果指標		地域子育て支援センターの数		地域子育て支援センターの数	
協働のあり方	行政の行動	<p>施策展開において</p> <p>子育て相談、情報提供、交流・仲間作りができる拠点、場所づくり</p> <p>子育ての場の拡充に努めます。</p> <p>施設の整備を行います。(要確認)</p> <p>保育所(園)運営の充実に努めます。</p> <p>子育てに関する情報提供や保護者との密な連絡をとるなど、子育てのサポートを行います。</p> <p>協働推進のために</p>	<p>施策展開において</p> <p>幼稚園の3歳児受け入れを始める</p> <p>協働推進のために</p> <p>市民センターやまちづくりセンター等、既存の施設で世代間交流ができるような形で親子が気軽に立ち寄れるスペースをつくる</p> <p>学区単位で親子が気軽に立ち寄れる場所を設置(小さい子どもをつれて遠くへはいけないので)</p>	<p>施策展開において</p> <p>未就園児対象の遊びや子育て相談など、地域の子育て支援の場づくりを進めます。</p> <p>子育ての場の拡充に努めます。</p> <p>保育所(園)運営の充実に努めます。</p> <p>子育てに関する情報提供や保護者との密な連絡をとるなどにより、子育てのサポートを行います。</p> <p>協働推進のために</p> <p>親子が気軽に立ち寄れて、子育て相談や仲間づくりができるスペースをつくります。</p> <p>子育て相談、情報提供、交流・仲間づくりができる拠点を市内各所に配置します。</p> <p>子育てに関する市民活動について、専門的なスタッフの派遣や活動場所の調整などの支援を行います。</p>	<p>子育て支援拠点施設の設置を拡大するとともに、市民センター等で活動されている、サロンやサークルの支援を充実します。</p>
		<p>隣近所の交流や地域ぐるみで子育てができる地域づくりに積極的にかかわります。</p> <p>地域ぐるみで子育てができる地域づくり、隣近所の交流について、地域の中で考えます。</p> <p>家庭は子育ての第一義的な責務を担うことを自覚し、正しい知識を習得し、明るい家庭環境を整えます。</p> <p>地域で子どもを見守り、育てます。</p>	<p>マンションの集会所等を親子が過ごせるようなスペースとして開放</p>	<p>マンション集会所等の活用など、隣近所の交流や地域ぐるみで子育てができる地域づくりに積極的にかかわります。</p> <p>地域ぐるみで子育てができる地域づくり、隣近所の交流について、地域の中で考えていきます。</p> <p>子育ての第一義的な責務は家庭が担うことを自覚し、正しい子育て知識を身につけて、明るい家庭環境を整えます。</p>	
		<p>子育て支援事業者</p> <p>地域で活動実績のある事業者が行政と協働して身近で多様な子育て支援を行います。</p> <p>企業</p>	<p>子育て支援事業者</p> <p>企業</p>	<p>子育て支援事業者</p> <p>行政と協働し、身近で多様な子育て支援を行います。</p> <p>企業</p> <p>企業内託児所の設置や子育てしやすい労働環境の整備を図ります。</p>	

【子ども・子育て】

放課後児童対策の充実		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明	
目標	児童育成クラブの入会待機がなくなる！	放課後の子どもが安心して過ごせる 小学生のすべてが安心して放課後を過ごす（児童育成クラブに入らない4年生以上も含めて）	放課後の子どもが地域で安心して過ごせる！			
成果指標	児童育成クラブ数（か所）	児童育成クラブの待機児童の数	児童育成クラブの待機児童の数			
協働のあり方	行政の行動	<p>施策展開において</p> <p>施設の整備を行います。</p> <p>児童育成クラブの運営の充実に努めます。 放課後子ども教室の充実に努めます。</p> <p>協働推進のために</p>	<p>施策展開において</p> <p>既存の施設（公民館等）に、子どもが自由に訪れて、安心して過ごすことのできる場所を設ける</p> <p>協働推進のために</p> <p>児童館のような、子どもが自由に訪れて、安心して過ごすことのできる場所の整備</p>	<p>施策展開において</p> <p>地域のニーズに対応するため、児童育成クラブの運営・充実に努め、一人でも多くの児童が市民センター等を利用できるように努めます。</p> <p>協働推進のために</p> <p>子どもが自由に訪れて安心して過ごすことのできる場所づくりを進めます。</p>		
	市民・地域の行動	体験型の活動支援など、児童育成クラブの活動に積極的に協力します。		放課後子ども教室の運営にあたりボランティアとして積極的に参加し、子どもの健全育成に協力します。		
	事業者等の行動	事業者 従業員の勤務が時間内で終了するように、雇用体制を整えます	事業者	事業者	事業者が持つ知識や技術、施設・設備などを、地域の子どもに提供していきます。	

【子ども・子育て】

地域ぐるみの子ども・子育て支援		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		子育てサロンなどに参加する人が増える！	すべての子どもが健全に地域で生活している	子育てサロンなどに参加する人が増える！	地域における子育て期の親子の交流の場であるサロンの広がりが必要です。
成果指標		子育てサロン等の参加人数	子育てサロンの数 放課後の子どもが安心して過ごせる場所の数	子育てサロン・サークルの数	
協働のあり方	行政の行動	<p>施策展開において</p> <p>子育て支援施策に関する情報提供を積極的に行います。</p> <p>地域・団体等の子育て支援活動の場所の設定や財政的支援など事業推進のための取り組みを行います。</p> <p>乳幼児家庭訪問等の機会を利用して虐待の早期発見に努めます。</p> <p>通告等に対して迅速に対応するための相談窓口の充実を図ります。</p> <p>協働推進のために</p>	<p>施策展開において</p> <p>協働推進のために</p>	<p>施策展開において</p> <p>母子保健事業やすこやか訪問事業などの機会をとらえて虐待の発生予防・早期発見・早期支援に努め、関係機関との連携を図ります。</p> <p>通告等に対して迅速に対応するための相談窓口の充実を図り、児童虐待防止の広報、啓発に努めます。</p> <p>協働推進のために</p> <p>地域ぐるみの子育てを進めていくため、子育てに関する情報の地域への提供を積極的に行います。</p> <p>地域・団体等の子育て支援活動の場所の調整や人材等の派遣などに取り組みます。</p>	
	市民・地域の行動	<p>保護者や家族が協力して、愛情豊かに子どもの育ちを支えています。</p> <p>子どもの人権と安全を守る意識を持ち、児童虐待防止や安全パトロールなどの取り組みに積極的に参加します。</p> <p>子育てが家庭だけの責任にするのではなく、地域で子育て家庭を支え、地域全体で暖かく見守り、支援するための仕組みを展開していきます。</p> <p>児童虐待の発見に努め、発見時には通告します。</p>	<p>見守り隊(地域の防犯ボランティア)が子どもの遊び相手になる</p> <p>地域の大人が子どもを見守る(見ていてくれるだけでよい)</p> <p>子どもが自由に訪れて、安心してすごすことのできる場所のボランティアをする</p>	<p>保護者や家族、地域が協力して、見守り、ともに遊び学んで、愛情豊かに子どもの育ちを支えています。</p> <p>子どもの人権と安全を守る意識を持ち、安全パトロールなどの取り組みに積極的に参加します。</p> <p>常に子どもを虐待から虐待から救うため行動します。</p>	

【子ども・子育て】

協働のあり方	事業者等の行動	事業者	事業者	事業者	児童虐待が子どもに及ぼす影響や地域での見守り、育てることの重要性、通告の意味など虐待防止について社会全体で取り組む市民意識を醸成するために事業者も啓発活動に取り組む必要があります。
		安心して子育てと仕事との両立ができる職場環境づくりを推進します。	子どもが安心して、健全に過ごせる場所(施設・クラブ等)の整備	事業者が持つ知識や技術、施設・設備などを、地域の子どもに提供していきます。	
			子どもが安心して、健全に過ごせる場所(施設・クラブ等)の創設のための基金を設立	児童虐待の発見に努め、発見時には通告するとともに、児童虐待防止などの啓発活動に積極的に参加します。	

【長寿・生きがい】

いきいきとした高齢社会の実現		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		高齢期ながらも地域社会で活躍する人が増える！	安心して年を取れる社会	高齢期ながらも地域社会で活躍する人が増える！	「安心して年を取れる」とは受動的な表現であり言葉に明るさがないと思います。高齢ながらも地域へ出かけていける高齢者像をイメージしたいと思います。
成果指標		地域密着型サービス事業所の整備(か所)	シルバー人材センターの登録者数	社会参加している高齢者の割合	シルバー人材センターの登録者数は、就労している高齢者数に含まれると思います。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において健康増進に関する情報や機会の提供に努めます。	施策展開において	施策展開において健康増進に関する情報や機会の提供に努めます。	高齢期における就労に関する窓口として、シルバー人材センターが現に窓口機能を果しています。
		高齢期の社会参加活動などへの取り組みに対して、情報提供など必要な支援を行います。	活動受け入れ団体等を探すための窓口の設置	高齢期の社会参加活動などへの取り組みに対して、情報提供など必要な支援や活動団体等紹介窓口を設置します。	
		協働推進のために	協働推進のために	協働推進のために	
協働のあり方	市民・地域の行動	生涯学習活動を楽しむ市民が増える！		「自分の健康は自分で守る」という意識を持ち、健康の保持増進に努めます。	
		地域の中での自らの役割を自覚し、地域活動やボランティア活動に主体的に取り組みます。		地域の中での自らの役割を自覚し、地域活動やボランティア活動に主体的に取り組みます。	
	事業者等の行動		事業所等 高齢者を積極的に雇用	事業所等 高齢者の雇用に努めます。	「高齢者等の雇用の安定に関する法律」が平成18年に施行されています。景気低迷により新卒者の雇用状況が悪化している現状から、「積極的」をはずします。

【長寿・生きがい】

あんしんできる高齢期の生活への支援		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		困った時に相談できる窓口を知っている人が増える！	安心して外出ができる社会 安心して年をとれる社会	困った時に相談できる窓口を知っている人が増える！	外出は社会参加のほうに含むと考えます。その上で何が安心かと考えたときに困ったときに相談先があればよいと考えました。
成果指標		高齢者相談件数(件)	介護保険の認定度合いが下がった人の数	高齢者相談件数(件)	認定の度合いについては認定時期によるものや、未利用者などいろいろ紛れ込みの要素が多いため、評価に耐えるのか疑問があります。
協働のあり方	行政の行動	<p>施策展開において</p> <p>サービス需要を見込みながら、適切なサービス基盤の整備を推進します。</p> <p>要介護認定の適正化と認定の効率化に努めます。</p> <p>よりいっそうの情報公開と、わかりやすい情報提供の工夫を図ります。</p> <p>相談窓口である地域包括支援センターの周知を図るとともに相談機能の連携を推進し、地域の相談体制を強化します。</p> <p>保健・医療・福祉の関係機関および地域の資源と連携し、総合的な支援のできる地域ケア体制を整えます。</p>	<p>施策展開において</p> <p>高齢者の安全のために、携帯できる身分証明カードを配布する(迷ってしまった時に周囲が家族に連絡が取れるように)</p> <p>利用しやすい様々な移動サービスを提供</p>	<p>施策展開において</p> <p>介護予防のための情報提供や、介護予防に役立つ場の提供、外出しやすい環境整備を推進します。</p> <p>介護支援等のサービス基盤の充実とあわせ、保健・医療・福祉の関係機関および地域の資源の連携による地域ケア体制を整えます。</p> <p>相談窓口である地域包括支援センターの周知を図るとともに、他の相談窓口との連携を推進します。</p>	<p>身分証については「シルバーほっとカード」がすでにあります。この活用方法を考えていくことでよいと考えます。</p> <p>相談窓口の数をゴールイメージとしたのでその関連で分りやすい表現に改めました。</p>
	市民・地域の行動	<p>介護が必要となった場合でも、適切なサービスを利用して、有する能力を活かし意欲的に生活を続けます。</p> <p>高齢期にある人が、家庭や地域で尊厳ある生活をおくることができるよう、お互いに支えあいます。</p>	<p>生活改善をして、介護予防に努める。そのための勉強会等をおこなう</p> <p>介護が必要となった場合でも、適切なサービスを利用して、有する能力を活かし意欲的に生活を続けます。</p> <p>高齢者が、家庭や地域で安心して生活ができるよう、お互いに見守り支えあいます。</p>	<p>自らの生活を改善して、介護予防に努めます。</p> <p>介護が必要となった場合でも、適切なサービスを利用して、有する能力を活かし意欲的に生活を続けます。</p> <p>高齢期にある人が、家庭や地域で安心して生活できるよう、お互いに見守り支えあいます。</p>	<p>自らが介護を予防のために行動変容をし安心して高齢期を過ごしていただくことは大切と考えます。</p> <p>「高齢者」という「レッテルを貼る」表現をなるべく避けています。</p>

【長寿・生きがい】

協働のあり方	事業者等の行動	サービス事業者 利用者のニーズに応じた質の高い利用者本位のサービスを提供します。	サービス事業者 利用しやすい様々な移動サービスを提供 生活支援(買い物代行等)のサービス提供 グループホーム等施設の入居者プログラムを多様化し、様々なニーズに対応できるようにする	サービス事業者 利用者のニーズに応じた質の高い利用者本位のサービスを提供します。	
		介護保険サービスに関する必要な情報の提供や、利用者の相談受付体制の整備を進めます。 評価・苦情等への対応について、いっそうの充実を図ります。		介護保険サービスに関する情報の提供や、相談受付窓口、苦情受付窓口の整備を進めます。	事業所にも相談窓口機能を果たしてもらうため、設けています。内容をまとめてひとつにしました。

【障害福祉】

障害のある人の生活支援		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		障害のある人が地域で安心して生活できる！	障害のある人とその家族が地域で安心して生活できる すべての人が自力で生活できる	障害のある人とその家族が地域で安心して生活できる！	市民会議意見を取り入れ修正します。 「すべての人が自力で生活できる」社会は理想的な社会と考えますが、まだまだ、そのような体制が整っていないのが現状であることから今回のゴールイメージには入れかねます。
成果指標		市内通所・入所施設、ケアホーム、グループホームの数	家族が相談できる機関の数	障害者や家族が相談できる機関の数	市民会議意見を取り入れ修正します。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において生活支援サービス基盤の整備、適切なケアマネジメントによるサービス提供を図ります。	施策展開において 家族の集まり(相談・情報交換の場)をサポート	施策展開において 生活支援サービス基盤の充実と適切なケアマネジメントによるサービス提供を図ります。	「家族へのサポート」の中に含めます。 現在、市と障害者福祉センター等で相談を行っているので窓口整備ではなく相談充実という表現とします。また、相談事業所もありますので事業者等の行動にも提案します。 市民会議意見を取り入れ追加します。 「生活支援サービス基盤の整備、適切なケアマネジメントによるサービス提供を図ります。」に含めています。
			家族へのサポート・相談窓口の整備	家族へのサポート・相談を充実させます。	
			障害者の世代によって抱える課題が異なるので、世代別のきめ細やかなサポートをする 障害者が自力で生活できるように、ハード・ソフト両方のサポートをおこなう	世代ごとのニーズを踏まえた、世代別のきめ細やかなサポートを行います。	
	市民・地域の行動	地域福祉活動に積極的に参画し、豊かな地域社会をともにつくります	障害者の生活支援のボランティア	障害のある人の生活支援ボランティア等の地域福祉活動に積極的に参画し、豊かな地域社会をともにつくります。	市民会議意見を取り入れ訂正します。
事業者等の行動	ニーズに即したサービス量の確保と、サービスの質の確保、向上を図ります。	障害者の世代によって抱える課題が異なるので、世代別のきめ細やかなサポートをする 障害者が自力で生活できるように、ハード・ソフト両方のサポートをおこなう	ニーズに即したサービス量の確保と、サービスの質の確保、向上を図ります。 家族へのサポート・相談を充実させます。		

【障害福祉】

障害のある人の社会参加の促進		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		障害のある人もない人も個性を認め合ったさまざまな出会いがある！	障害者・健常者のWin・Winの関係性ができる 障害者・健常者が互いに認め合い、尊敬し合える社会	障害のあるないにかかわらず、互いを認め尊敬し合えるたくさんの出会いがある！	Win・Winの関係性という表現はまだ一般的でない言葉であり、入れかねます。 「尊敬しあった」という趣旨を加えます。
成果指標		障害者福祉センターのふれあい・交流事業の参加者数	働く障害者の数 障害者の社会参加を支えるボランティアの数 就業をサポートする制度の数	障害者福祉センターのふれあい・交流事業の参加者数 障害者の社会参加を支えるボランティアの数	市では働く障害者数は把握できません。ハローワークが障害者雇用義務事業者に対して調査されますが、市単位の結果報告はありません。(福祉的就労者数や福祉的就労から一般就労への移行者数であれば数字を出すことは可能です。) 市民会議意見を取り入れ追加します。 就業サポートする制度は国・県が作っているものがほとんどであり、市として新たに制度を作っていくということが少なく、成果指標には適さないと考えます。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 障害のある人が社会参加できる環境を整え、個々の能力を発揮できる機会づくりに努めます。 さまざまな機会を利用して、障害と障害のある人についての理解の促進に努めます。 ふれあい・交流の場づくりに努めます。企業に対する、障害者雇用のサポート(助成金やボランティア等)	施策展開において 企業が障害者雇用を促進できるように、勉強会を開催したり、マッチングの機会を提供する 授産施設に通うことが逆に経済的負担になる事例もあるので、負担なく通えるような支援を行う 企業に対する、障害者雇用のサポート(助成金やボランティア等)	施策展開において 障害のある人が社会参加できる環境を整え、個々の能力を発揮できる機会づくりに努めます。 ふれあい・交流の場づくりに努めるとともに、さまざまな機会を利用して、障害と障害のある人についての理解の促進に努めます。 障害者雇用の促進や就労サポートについて国・県に要望していきます。	「障害者雇用の促進や就労サポートについて国・県に要望していきます。」に含めます。 現在、負担の見直しについて国が検討しているところです。 市民会議意見を取り入れ追加します。
	市民・地域の行動	さまざまな障害福祉サービスを利用しながら、社会参加します。 障害のある人もない人も、ふれあい・交流の機会に積極的に参加します。	障害者が生き生きと働くためのサポートボランティア	社会生活を行うため、必要な障害福祉サービスを適切に利用します。 障害のある人の社会参加をサポートするボランティア活動等に参加します。 市民同士のふれあい・交流の機会に積極的に参加します。	市民会議意見を取り入れ追加します。
	事業者等の行動	雇用者 個人の適性を踏まえた雇用・業務の提供、働きやすい職場環境の整備を進めます。 サービス提供事業者 地域とのふれあい、交流の機会をつくっていきます。	事業所等 障害者雇用を促進し、各人に合う仕事が見つかるまでのサポートをする サービス提供事業者	事業所等 障害者雇用を促進し、個性と能力を活かした就労を継続的にサポートするとともに、働きやすい職場環境の整備を進めます。 サービス提供事業者 地域とのふれあい・交流の機会をつくっていきます。	事業所等に訂正します。 市民会議意見を取り入れ訂正します。

【地域福祉】

地域力のあるまちづくり		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		災害時要援護者名簿の整理	「向こう三軒両隣」で助け合う	「向こう三軒両隣」で助け合える！	
成果指標		災害時要援護者名簿への登録者数	討議の結果、原案に賛同	災害時要援護者名簿への登録者数	
協働のあり方	行政の行動	施策展開において要援護者の把握と民生委員児童委員等との連携に努めます	施策展開において旧来の町内会に代わるような行政上のサポートシステムの検討	施策展開において地域福祉コーディネーターを育成し、地域活動を促進します。	まちづくりの方向性を見極めたサポート体制が必要です。 災害時要援護者支援プランの中で検討しているため、「個人情報」について明記していない
		地域ネットワークづくりの支援を行います	個人情報との兼ね合いがあるため、その障壁を取り除いていけるような取り組み	地域生活の安心を守るネットワークづくりの支援を行います。	
		ボランティアの養成・確保に努めます		地域福祉ボランティアの養成・確保に努めます。	
		協働推進のために 民生委員児童委員、自主防災組織等との協働を進めます	協働推進のために	協働推進のために 町内会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、自主防災組織等との連携を強めます。	
	市民・地域の行動	地域の活動に積極的に参画します	行政の制度からもれる世帯や人の把握	地域の活動に積極的に参画します。	「地域で支えるまちづくり」を推進します
			福祉支援は当事者からの申請が原則となるため、市民側から声を上げていく 隣近所のつきあいの再認識 敬老会やサークル活動など、親睦による隣人とのコミュニケーション	「地域で支える支援者」に登録します。 隣近所の大切さを再認識し、地域のコミュニケーションを進めます。	
事業者等の行動	社会福祉協議会	社会福祉協議会	社会福祉協議会	行政と協働し、「草津市地域福祉計画」に基づく福祉のまちづくりを推進します。 企業・大学 地域福祉活動における協働に努めます。	
	企業・大学 地域福祉活動への協働を進めます				
その他		事業者には社員の安否確認の義務があるが、社外に流すことはできない(地域と共有していくような方法は今のところ思いあたらぬ)			

【健康・保険】

市民の健康づくり		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		自ら健康づくりに取り組む人が増える！	健康であることを心がける人が増える	自ら健康づくりに取り組む人が増える！	「心掛ける」だけでなく「取り組む」姿勢が必要かと考えます。
成果指標		乳がん・子宮がん検診の受信者数	ラジオ体操の実施率・参加率	健康推進員が実施した事業に参加した事業に参加した人数	提案いただいた内容のデータ把握ができません。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において	施策展開において	施策展開において	たばこ税の扱いについては、健康づくりの取り組みと直接関係がないと考えます。
		健康に関する情報提供などの啓発活動を積極的にいきます	たばこ税の扱い(あてにしない財政orふさわしい活用を)	健康に関する情報提供や定期健診の受診を呼びかけるなどの啓発活動を積極的にいきます。	
		地域医療体制の充実に寄与するため、関係機関と連携していきます		地域医療体制の充実に寄与するため、関係機関と連携していきます。	
		協働推進のために	協働推進のために	協働推進のために	自治会単位での配置は、現実的に難しいと考えます。
		自治会・地域単位で健康推進員を配置する(引継ぎも地域ごとに行う)	学区・地区単位で健康推進員を配置する。		
市民・地域の行動	健康に関する正しい知識、よりよい生活習慣を身につけます	健康推進員が各種健診や啓発活動の窓口になる	自分の健康は自分で守るという意識を持ち、行動します。	「健康」の中に、精神的な健康も含めて考えています。	
	医療機関をコンビニ感覚で、夜間や時間外に安易に利用することを控えます	肉体だけでなく精神的な健康も理解・心がける ひとりにしない、ひとりにならない、コミュニティ	健康に関する正しい知識、よりよい生活習慣を身につけます。 医療機関をコンビニ感覚で、夜間や時間外に安易に利用することを控えます。		精神面のことだととらえると、上記と同じです。
事業者等の行動	健康推進員等	企業	健康推進員等	現在、健康推進員は積極的に検診の啓発に努めています。	
	けん診の必要性について理解し、市民啓発への協力を行います	地元企業と地域の協働による健康づくり	健康についての正しい知識を普及啓発し、行政と地域のパイプ役として協力を行います。		
	地域で健康づくりや健康増進の取り組みをいっそう進めます		地域で健康づくりや健康増進の取り組みをいっそう進めます。	地元企業と地域の協働による健康づくりについては、今後の検討課題と考えます。	
その他		禁煙・分煙はすべての主体が取り組むことが必要 大学生の喫煙は入学時→卒業時で20%増加する	健康に関する正しい知識、よりよい生活習慣を身につけます		たばこに関する取り組みは左記内容に含めて考えます。

【健康・保険】

医療保険制度の適正運用		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		医療保険制度が健全に運用されている	病気のと看安心して病院にかかれる (たらい回しにされない草津市)	医療保険制度が健全に運用されている！	医療機関に受診された際の医療費は公費のほか、加入されている被保険者の方々が納付される保険税(料)により運営されています。この医療制度が適正に運営されるためには保険税(料)を確実に納付していただくことが必要となるため、今般提案させていただきました。保険制度の運営基盤が確実なものであるためには、今後においても広報活動を活発に行っていく必要があると考えます。
成果指標		保険料収納率(安定度)	幅広く健診の受診率を指標にしては？ 不就労者など、行政でないとフォローできない層の適用・受診状況 市の独自制度の有無(セーフティネット)	保険料収納率(安定度)	加入者は、医療費の一部を負担し、国や県からの補助金とともに国保の運営がなされています。医療保険制度の適正運営には必ず保険税(料)を納付いただき、未納をなくすことが目的となりますので、成果指標に「保険料収納率」をあげています。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において	施策展開において	施策展開において	医療費適正化の観点から実施している特定健康診査等については、その必要性和加入者の健康管理意識の高揚を図るため広報啓発活動等を行っていく必要があると考えます。
		医療費の適正化の推進や加入者の健康管理意識の高揚のため、広報啓発活動を強化します	市としての独自施策をおこなう(具体例は下記)	医療費の適正化の推進や加入者の健康管理意識の高揚のため、広報啓発活動・個別勧奨を強化します。	
		市民が制度に混乱することのないよう、広報活動等によりきめこまやかな対応を図ります	乳幼児・児童・高齢者のインフルエンザ予防接種補助の実施	市民が制度に混乱することのないよう、広報活動等によりきめこまやかな対応を図ります。	予防接種補助は、現在、市として一定年齢以上の人等に補助制度があります。このため、保険者(国保)として実施することは不公平となります。「市民の健康づくり」に含めるのが妥当です。また、被保険者の方々が医療制度の加入資格の状況、医療の受給、保険料の納付について理解をいただくことにより、健全な運営が可能と考えます。
		医療費の一部を助成することにより、経済的負担を軽減します	国保は赤字の状況。保険料を上げる必要も出てくる。 乳がん健診受診率のUP(国と協力しながら)	医療費の一部を助成することにより、経済的負担を軽減します	この施策のなかに、福祉医療費助成制度も含まれており、その制度の目的は、医療費の一部を助成することにより経済的負担を軽減することにあります。 乳がん健診の受診率向上は、市として取り組み(健康増進課)をしているが、健診の内容から実施医療機関が限定されるので、特定健診と同時実施の推進がしにくい状況にあります。内容的には「市民の健康づくり」に含めるのが妥当です。

【健康・保険】

協働のあり方	行政の行動		<p>経済的理由で保険料が支払えない層が増えていることに配慮する</p> <p>収入のない家庭への医療費補助</p> <p>損害保険料ゴールド免許割引のように不摂生の人の保険料が高くなる独自制度の検討(現実には難しいが)</p> <p>市民がきちんと救急受診できる体制づくり</p>		<p>医療費補助を実施する場合、補助をした費用は他の市民や被保険者の負担となり、収入のない家庭の判断基準など市独自で対応することは困難であると考えます。</p> <p>今の医療保険制度は、国の法律に基づき運営をしていることから、収入などによって保険税(料)負担が異なる場合がありますが、不摂生かどうかで高くすることはできません。現在、保険者が実施している特定健康診査・特定保健指導において、生活習慣を改善することにより、病気の重症化を予防するなど、医療費の適正化に取り組んでいます。</p> <p>「市民の健康づくり」の分野に含めます。</p>
		市民・地域の行動	医療保険制度への理解を深めます	医療保険制度への理解を深めます。	
		事業者等の行動	事業者等	事業者等	事業者等
その他			<p>市民がきちんと救急受診できる体制づくり</p> <p>保険料算定上は無理でも、企業と連携して、草津市独自の健康増進施策を立ち上げられないか(例:健診を受けた人にスーパーで割引、パナソニックの健康製品プレゼント等)</p>		

【生活安心】

生活安心への支援		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		生活が苦しいときに地域社会が頼れる！	討議の結果、原案に賛同	最低限の生活が保障されている！	
成果指標		訪問率	訪問率の定義を明記するべきではないか 生活保護を受けていた人が自立したケース数	自立を理由として生活保護を廃止したケースの比率	
協働のあり方	行政の行動	施策展開において健康で文化的な最低限度の生活の保障を保證するとともに、自立生活の確立に向けた援助を行います 協働推進のために	施策展開において協働推進のために	施策展開において健康で文化的な最低限度の生活の保障を保證するとともに、自立生活の確立に向けた援助を行います。 協働推進のために	
	市民・地域の行動	制度を活用しながら自立生活の確保に努めます		生活困窮時に、生活保護制度などを有効に活用して、自立生活の確保に努めます。	
	事業者等の行動	民生委員児童委員等 相談・支援を行います		民生委員児童委員等 地域において、生活に困難を抱える人に対する積極的な相談・支援を行います。	
その他			高齢者や障害者と失業者は対応が異なる 失業者に対応するのは地域なのかどうかは疑問 草津市と国の支援は異なる 訪問率は、理由があつて働けない人へ限定しているのか 自立生活の確保に努める、というのは、近隣の支援が必要なのかわかりにくい 民生委員もプライベートの領域に入りにくい		生活困窮理由により個々の対応をしている 失業者には公共職業安定所などを利用した就労支援を実施している 生活保護は、国の実施要領により実施している 生活保護世帯全世帯に訪問をしている 生活保護世帯がどの世帯であるのかは、守秘義務があり近隣の支援を得ることは困難である。 支障のない範囲で生活状態を把握していただくことになる。

【生活安心】

暮らしの安心の確保		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		安心して消費生活ができる！	討議の結果、原案に賛同	安心して消費生活ができる！	
成果指標		消費生活相談件数	事前の相談件数の増加なら成果指標になるが、被害報告の増加は成果になるか不明	消費生活相談件数	被害を未然に防ぐため、出前講座(みんなでトーク)や広報等による啓発を実施している。 また、相談には事前に相談に来られる場合もあるが、被害にあってから来られる場合がほとんどで、さまざまな事例があり、クーリングオフによる無条件解約や消費者契約法により、解約できる場合もあることから成果として捉えることができる。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 啓発および情報収集に努めます 協働推進のために 消費者団体の活動を支援します	施策展開において 協働推進のために	施策展開において 消費生活についての情報収集を行い、市民啓発に努めます。 協働推進のために 消費者団体の活動を支援します。	
	市民・地域の行動	多種多様化する日常生活における課題について、必要な知識を取得します		日常生活における課題の多様化や高度化に対応できるように、必要な知恵と知識を身につけます。	
	事業者等の行動	国・県等関係機関 連携を密にします	国・県等関係機関	国・県等関係機関 関連諸機関の連携を密にする中で、消費生活等に係る情報の共有を図ります。	
その他			国でも解決していないような問題は草津しても相談に対応できない		多重債務等の相談は市民に近い窓口として市の相談員が受け司法書士や弁護士に繋げるようになってきているので一概に言えない。なお、国で解決できない相談についてはものは市の窓口においても難しい。

【生活安心】

火葬場、墓地の適正管理と公衆衛生の向上		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		飼い犬はすべて狂犬病の予防注射を行っている！	地域の火葬場への的確な対応	飼い犬はすべて狂犬病の予防注射を行っている！	
成果指標		予防接種率	墓地近隣の住民の評価	予防接種率	墓地の維持管理業務については指標管理に見合わないことから、公衆衛生の視点から飼い犬の予防接種率とします。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 火葬場老朽化への対応を図ります	施策展開において	施策展開において 狂犬病予防注射接種率の向上に向けた啓発を行います。	
	市民・地域の行動	狂犬病予防注射を受けます		狂犬病予防注射を受けます	
	事業者等の行動	獣医師会 連携を密にします	獣医師会	獣医師会 狂犬病対策等において、行政との連携を密にします。	
その他			新たな火葬場の建設は広域行政の範囲ではないか		

【防犯・防災】

災害に強いまちづくり		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		地域防災の意識が高い！	討議の結果、原案に賛同	地域防災の意識が高い！	
成果指標		自主防災組織率	防災協定を結ぶ企業の数	自主防災組織率	防災協定については、その重要性を十分認識しており、現在も、複数社と協議を進めているところですが、協定の内容が物資調達や輸送など、行政が行う支援について、社会資源を活用する取組みです。災害はやはり自らの取組みである自助や地域で助け合う共助が大変重要であり、そういう意味で共助の象徴である自主防災組織の組織率のほうが良いと思います。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 防犯組織や情報伝達体制の強化を図ります 地域防災拠点の整備や避難所の確保に努めます 救援、復旧体制の整備を図ります 他都市、関係機関との防災協定による協力体制を確立します 災害時要援護者への支援方法を確立します 消防・防災活動に関する啓発を進めます 消防施設等の適切な維持、施設整備に努めます 自主防災活動への支援を行います 協働推進のために	施策展開において 防災器具の定期点検の行政の指導	施策展開において 消防・防災施設の整備を進め、防災体制の強化を図ります。 他都市や民間企業との防災協定により相互協力体制を構築します。	協働を視点に項目を3点に集約しました。 自主防災組織が整備された防災器具の定期点検については、共助の中で、自主防災組織自ら責任を持って行うべきと考えます。
			協働推進のために	協働推進のために 各家庭や自主防災組織での自助・共助の取組みを支援します。	

【防犯・防災】

協働のあり方	市民・地域の行動	<p>災害用備蓄品を備蓄します</p> <p>家族内の連絡方法や避難場所などを確認します</p> <p>地域住民相互の助け合いや災害時要援護者の支援を確認します</p> <p>町内会、自主防災組織などで防災訓練を実施し、参加します</p> <p>町内会単位などでの消火組織などの実施による火災予防を行います</p> <p>消防団活動に協力し、または、加入します</p> <p>自主防災組織による防火、防災活動を行います</p>	<p>防災器具の定期点検への住民の参加</p>	<p>災害用備蓄や住宅の耐震補強など、家庭での防災対策を進めます。</p> <p>自主防災組織を結成し、災害に強い地域づくりを進めます。</p> <p>消防団への入団や、協力を通じて地域防災力を高めます。</p>	<p>項目を3点に集約しました</p> <p>自主防災組織での防災活動の中で、避難訓練や防災器具の取扱い訓練を実施するなどして地域防災力を高めていくものと考えます</p>
	事業者等の行動	<p>事業者等</p> <p>災害発生時における市との協力体制(防災協定等)を確立(物的・人的・技術的支援)します</p> <p>災害発生時のボランティア活動への協力などに努めます</p> <p>消防団活動に協力し、または、加入します</p> <p>事業所等での自衛消防隊を組織します</p>	<p>事業者等</p>	<p>事業者等</p> <p>防災協定等により災害発生時における市との協力体制(物的・人的・技術的支援)を構築します</p> <p>災害発生時のボランティア活動への協力などに努めます</p> <p>事業所での防災組織の設置や消防団活動への積極的な参加に努めます</p>	<p>項目を3点に集約しました。</p>
その他			<p>自主防災組織率は自治会を単位とするのか</p>		<p>自治会単位です。</p>

【防犯・防災】

犯罪のないまちづくり		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		犯罪認知件数が減る	討議の結果、原案に賛同	犯罪認知件数が減る！	
成果指標		人口千人当たり犯罪認知件数(対平成14年度比)	討議の結果、原案に賛同	犯罪認知件数	<p>・「千人あたり」は「一万人あたり」の誤り こうすると「犯罪率」という数値となり、 ゴールイメージと異なる。また他市と比 較しないため「〇〇人あたり」とする必 要がない。</p> <p>・「対平成14年度比」について／平成1 4年は県内・市内ともに犯罪発生が最も 多かった年だが、第5次計画に載せる にはその時点で既に7年経過して おり古いデータであるため、原案提案時 にはあえて対比を記載していない。</p>
協働のあ り方	行政の行動	施策展開において 防犯灯などの防犯設備の設置、維持を 行います	施策展開において	施策展開において 防犯灯など防犯設備の設置と維持管理 を行います。	
		警察、関係機関との連携による各種防 犯活動を実施します。 市民への防犯情報の提供等に努めま 協働推進のために	協働推進のために	警察、関係機関との連携による防犯活 動を展開します。 市民への防犯情報の提供等に努めま す。	
	市民・地域の行動	「自分の身は自分で守る」という防犯意 識を持ちます。 社会規範の見直しと家庭内でのモラル 教育を行います。	協働推進のために	協働推進のために 市民の防犯意識向上のための啓発活 動、研修会等を実施します。	
	事業者等の行動	事業者等 店舗等における青少年健全育成の取り 組みや防犯用品の販売等を行います。 防犯ボランティアに協力します。	事業者等	事業者等 店舗等における青少年健全育成の取り 組みや防犯用品の販売等を行います。 社会貢献として防犯活動に参加・協力 します。	
その他			なぜ平成14年度比なのか		同上

【防犯・防災】

治水対策		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		治水対策が進んでいる！	討議の結果、原案に賛同	治水対策が進んでいる！	
成果指標		雨水排水路整備率(進捗/計画)	討議の結果、原案に賛同	雨水排水路整備率(進捗/計画)	
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 市民等からの意見や要望を反映し、計画的に事業実施を図ります。 協働推進のために	施策展開において 協働推進のために	施策展開において 市民等からの意見や要望を反映し、計画的に事業実施を図ります。 協働推進のために	
	市民・地域の行動	地域ぐるみの河川愛護の活動(浚渫・ <small>ショウセツ</small> 草刈り等)に自主的に取り組みます。		地域ぐるみの河川愛護の活動(浚渫・ <small>ショウセツ</small> 草刈り等)に自主的に取り組みます。	
	事業者等の行動	国や県 一級河川の早期整備を図ります。	国や県	国や県 一級河川の早期整備に努めます。	
その他			放置されているため池の土手の管理		ため池の所有者及び利用者での対応です。

【うるおい・景観】

やすらぎ・憩いの環境づくり		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		市民が利用できる公園・緑地が増える！	公園・緑地が活用される	市民が利用できる公園・緑地が増える！	まだまだ人口が増加する草津市においては、都市基盤整備が急務の課題であり、利用されていない公園がある現状であって、活用まで及んでいない。また、「公園・緑地が活用される」は、既存施設の充実か、又は整備を推進するのか、市民がイメージできないと思われる。
成果指標		公園・緑地面積	公園・緑地の利用度合 市民ひとりあたりの緑地面積	公園・緑地面積	公園・緑地の利用度合については、地域の住民構成の変化に左右され、数値的に検証することが難しい。 今後においても人口が増加する草津市においては、市民1人当たりの面積を指標とすると、数値的に目標を達成することが困難である。
協働のあり方	行政の行動	<p>施策展開において</p> <p>協働推進のために 市民との協働により、公園・緑地を計画的に整備します。</p>	<p>施策展開において</p> <p>使われていない児童遊園の見直し(特に小規模なものが使われていない現状がある)</p> <p>宅地造成に伴う公園の計画的な造成(一定の広さを確保しないと市民は利用しない)</p> <p>緑地・公園の活用のあり方を再検討する 上記を含めた計画的なゾーニング(よい景観イメージはよい計画から)</p> <p>里道・ため池といった「青線」となっている土地の管理のあり方を明確化する</p> <p>協働推進のために</p>	<p>施策展開において</p> <p>緑地・公園の活用のあり方を再検討し、市民ニーズに応える公園・緑地の整備を推進します。</p> <p>協働推進のために 市民との協働により、公園・緑地を計画的に整備します。</p>	<p>「緑地・公園の活用のあり方を再検討する」に含む。</p> <p>「緑地・公園の活用のあり方を再検討する」に含む。</p>
	市民・地域の行動	<p>住宅などの屋上や壁面等の緑化に努めます。</p> <p>利用者の立場で公園整備に参加します。 公園の維持管理に対して積極的役割を果たします。</p>	<p>自分の地域だけでなく、地域間での土地や設備の交換利用を志向する</p>	<p>利用者の立場で公園整備に参加します。 公園の維持管理に対して積極的役割を果たします。</p>	<p>土地や設備の交換については、財産権と設備保証期限等の関係から実施は困難と考える。</p>
	事業者等の行動	<p>企業や大学 公園整備、管理のあり方について研究、実践を行います。</p>	<p>企業や大学</p>	<p>企業や大学 公園整備、管理のあり方について研究、実践を行います。</p>	

【うるおい・景観】

良好な景観の保全と創出		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標	気持ちのいい景観が増える！		日常生活の場がよごれていない(いまある現状をきちんと見つめる) 気持ちよく散歩のできるまち	誰もが快適で心地よいと感じる場所が増える！	「うるおい・景観」に対する基本構想における「まちづくりの基本方向」を踏まえています。
成果指標	(市内に)「将来に残したい景観がある」と思う市民の割合		不法投棄の件数	市内および居住地周辺の景観に好感が持てると感じる市民の割合	市内全般の自然景観の保全やまちなみ形成などの都市景観に加え、日常生活の場の景観も含めた表現にしました。本分野については、「都市景観」であり、不法投棄については環境分野における「環境循環型社会の構築と廃棄物の処理」が見合うと考えます。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において地域に暮らす人々の創意あふれる取り組みを促進します。 景観目標や施策の方向性等を明確にしながら住民や事業者への啓発に努めます	施策展開において草津川を気持ちよく散歩できる場に整備する 長期的なインフラ整備 手付かずになってしまっている歴史遺産の再整備 不法投棄の防止	施策展開において統一感とゆとりのある都市景観づくりに努めます。	基本方針下位の施策の内容に合致させています。 本分野については、「都市景観」であり、不法投棄については環境分野における「環境循環型社会の構築と廃棄物の処理」が見合うと考えます。
		協働推進のために	協働推進のために	協働推進のために	
	市民・地域の行動	良好な景観の形成に関する理解を深めます。 良好な景観を保全・創出するため、自主的なルールづくりに取り組みます。 良好な景観の保全と創出のため、ルールを遵守します。	景観整備のための人的協力 行政だけにまかせず、不法投棄などは地域でも見回りをおこなっていく(行政との役割分担)	生活者の立場から、快適で心地よい地域の空間づくりに努めます。	市民・地域の皆様の協力の趣旨を含めています。 本分野については、「都市景観」であり、不法投棄については環境分野における「環境循環型社会の構築と廃棄物の処理」が見合うと考えます。
事業者等の行動	事業者 良好な景観づくりへの積極的な参加と協力を行います。	大学等 大学や生協・学生が関わってのリサイクル推進	事業者・大学等 企業や大学等において、快適で心地よいと感じる空間づくりに取り組みます。	企業や大学の協力の趣旨を含めています。	

【環境】

人と自然との共生した環境づくり		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		多種多様な生物が生息する空間が増える！	草津らしい多種多様な生物の生息場所・空間が増える	多種多様な生物が生息する場所・空間が増える！	草津らしい多種多様な生物を特定することは困難なため、多種多様な生物の生息場所・空間とした。
成果指標		保全地区、保護樹木	ホタル、メダカ、ドジョウ、タニシ、シジミ、アカハライモリ、秋ゼミ、トンボ等の数 ビオトープ指定箇所の数 住宅街を通った汚れた雨水を浄化する装置(竹製など)の設置箇所の数	自然環境保全地区、保護樹木	保全地区、保護樹木を増やしていく予定であり、マイナスの変化が容易と考えていない。また、ホタル等の数については、調査することが困難である。 ビオトープについては、生き物の棲みかであり、特定の場所として指定する必要性が小さいと考えられます。 河川法とのかかわりから、市として浄化する装置の設置は難しい。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において	施策展開において	施策展開において	ビオトープについては、生き物の棲みかであり、特定の場所として指定する必要性が小さいと考えられます。
		自然環境保全に向けた啓発に努めます。	ビオトープ指定を進めるため、補助を行う条例の策定など、しくみづくり	市内の自然環境の状況把握し、自然環境を保全するための取り組みを進めていきます。	
		市内の自然環境の状況把握に努めます。	市民や行政がアクションを起こしやすい状況を用意する		
	協働推進のために	協働推進のために	協働推進のために	自然環境を守る活動に関係する、市民、事業者、団体等の交流の機会をつくっていきます。	
市民・地域の行動	自然環境保全にかかわって活動に参加します。	使っていない空き地をビオトープ用地として提供する	自然環境保全に関わって活動に参加します。		
事業者等の行動	事業者等 生物多様性に配慮した敷地内緑化やビオトープ設置などに努めます。	事業者等 使っていない空き地、事業用地などをビオトープ用地として提供する	事業者等 生物多様性に配慮した敷地内緑化やビオトープ設置などに努めます。	事業者の用地の提供については、管理上の問題(出入りの問題、セキュリティ、秘密保持)があり困難と思慮します。また、企業の中で空き地等を活用した緑化等に努めていただけると考えます。	
その他			指標として、マイナスの変化が容易に予想される数値はふさわしくないのでは(例えば「保全地区などの箇所数」) 「生物多様性」という言葉には、在来種や地域の固有種の存続という意味が含まれるので、弱い在来種は保護し、強い外来種は駆除する行動が必要になる 企業にとっては、イメージアップにも繋がるため、ビオトープ設置は進めやすい		

【環境】

環境学習の充実		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		環境学習に参画する市民団体が増える！	環境学習のできる場の充実 (「くさつエコ・ミュージアム」は一例) 環境学習を進める教材の充実	環境学習に参画する団体が増える！	環境学習は特定の場所が必要とするものではなく、地域にある(自然、歴史、産業、人など)が環境学習の素材と考えております。そのため学習教材も画一的なものとは不向きであると考えられます。
成果指標		参画市民団体数	環境学習に取り組む団体数 環境学習に参加した人数(団体へのアンケート調査などの手法で) 環境学習会の開催数 観光学習の場の数 ビオトープ指定箇所(左記項目と共通指標)	参画団体数(その把握の中で参加者数、開催数も含む)	ゴールイメージから、成果指標を設定しました。 ビオトープについては、生き物の棲みかであり、特定の場所として指定する必要性が小さいと考えられます。 現在、「自然環境保全地区」、「保護樹木」を指定しています。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 市民の自主的な取り組みを進めるための啓発や学習機会の提供を進めます。	施策展開において 草津の環境の変遷のわかる教材の作成(小学校への配布も)	施策展開において	草津の環境の変遷の教材については、「わたしたちの草津」という副読本が教育委員会から発行されています。
		企業や団体等との連携により地球環境問題の対策の推進を図ります。 子どもたちが関わることのできる全国会議などを誘致します。 協働推進のために	協働推進のために	市民、事業者等との連携により地球環境問題の対策の推進を図ります。 子どもたちが関わることのできる全国会議などを誘致します。 協働推進のために	
			市民リーダーの養成 市民団体の動きを広げる ビオトープをはじめとする環境学習の場の設置が進むような、補助を行う条例など、しくみづくり	市民、事業者等の自主的な取り組みを進めるための啓発や学習機会の提供を進めます。	市民リーダー養成は、すでに国・県・大学等で行われています。 環境学習の場の設置については、ゴールイメージでの説明のとおりです。

【環境】

協働のあり方	市民・地域の行動	様々な環境学習や啓発イベントに参加します。	草津の環境の変遷のわかる教材の作成への協力 学校へ講師として出向く 市民リーダーの養成 環境学習実施の主催者としての活動（例えば自治会における勉強会など）	様々な環境学習活動や啓発イベント等に参加します。 地域において主体な環境学習等の活動展開を行います。	教材作成の協力、講師として出向くについては、「主体として参画、実施」に含まれます。 市民リーダーについては、前述のとおりです。 主催者としての行動は、反映しました。
	事業者等の行動	企業 地域環境を大切にするため、地域と連携した社会貢献活動に取り組みます。 行政の施策に協力します。	事業者等 使っていない空き地、事業用地などをビオトープ用地として提供する	企業 地域環境を大切にするため、地域と連携した社会貢献に取り組みます。 行政が取り組む環境学習の展開について、積極的に協力します。	事業者の用地の提供については、管理上の問題（出入りの問題、セキュリティ、秘密保持）があり困難と思慮します。また、これらの活動も社会貢献の中にも含まれるものです。
その他			環境団体一覧の更新・継続も重要（取り組み主体については未討議） 企業にとっては、イメージアップにもつながるため、ビオトープ設置など環境学習の場の提供は進めやすい		

【環境】

地球温暖化対策への貢献		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		地球温暖化対策への市民意識が高まる！	市民・行政・事業者が地球温暖化対策として実際に活動する	地球温暖化対策に関する市民活動が活発である！	意識だけでなく、行動に至るというイメージとしました。
成果指標		アンケート	家庭版ISOの参加者数 ノーマイカーデーの参加者数 事業所におけるCO2削減量 管理された緑地(活発な光合成によりCO2吸収量が多い)面積の増加量 啓発活動の回数	アンケート調査(意識・行動) 重点アクションの活動量(環境家族宣言、ノーマイカー通勤など)	事業所におけるCO2削減量については、国・県の法令による報告と重複し、また費用対効果の面でも困難です。CO2吸収量が多い緑地面積についても費用対効果の面で困難です。啓発活動の回数については、行政でなく様々な主体で啓発に取り組まれるものでありますので把握が困難です。重点アクションの活動量については指標に反映しました。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 市民団体の活動が円滑に行えるよう補助金の支出、活動に対する支援を行います。	施策展開において 啓発活動		啓発活動については、反映しました。新エネルギー等の優先利用については新設の公共施設において導入していません。
		協働推進のために	協働推進のために 新エネルギー・代替エネルギーなどの優先利用 さまざまな主体が参画するプラットフォームづくり 管理された緑地面積を増やす制度 家庭版ISOなどに参加したら優遇が得られるなどの、市民の参加を促進させる制度づくり	市民、事業者等の自主的な取り組みを進めるための重点アクション等の仕組みづくりを行います。 協働推進のために 様々な主体が参画する、地球温暖化対策に係るプラットフォームの充実を図ります。	
	市民・地域の行動	身近で自らができる対策に取り組めます。	生活を改める 家庭版ISOやノーマイカーデーなどに参加する	身近で自らができる地球温暖化対策に取り組めます。	環境家族宣言やノーマイカー通勤などは、重点アクションに位置付けており、身近な対策の中に含まれます。
	事業者等の行動	企業未活用の代替エネルギーの有効活用と普及について研究します。	事業者等 事業用地の緑化と適正管理	事業者等 省エネ製品の研究・開発等を進めます 自主的に省エネ対策、新エネルギー利用、緑化推進を行います。	事業用地の緑化については、反映しました。
その他			ゴールイメージとして、「意識」だけでは足りないのではないか？ プラットフォームにおいて、成果指標についても検討してはどうか		

【環境】

資源循環型社会の構築と廃棄物の適正処理		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		市民生活から出るごみの量が減る！	市民生活から出るごみの量が減る	家庭や事業所から出るごみの量が減る！	
成果指標		市民1人当たりの最終処分量	ごみの総回収量 一人当たりの最終処分量 刈ったヨシや選定した樹木の堆肥化・チップ化の量	市民1人当たりのごみの排出量 ごみの資源化量	
協働のあり方	行政の行動	<p>施策展開において 関連施設や収集体制の計画的な整備を行い、安定的かつ適正な廃棄物の処理体制を継続させます。</p> <p>定期的なパトロールを行い、散在性ごみ等の発生抑制や回収活動を市民とともにを行います。</p> <p>協働推進のために 市民がごみ減量・リサイクル活動に積極的に取り組めるよう啓発活動や各種事業の充実を図ります。</p> <p>定期的なパトロールを行い、散在性ごみ等の発生抑制や回収活動を市民とともにを行います。</p>	<p>施策展開において</p> <p>琵琶湖岸の刈ったヨシや学校・公園などで剪定した樹木の堆肥化・チップ化</p>	<p>施策展開において 関連施設や収集体制の計画的な整備を行い、安定的かつ適正な廃棄物の処理体制を継続させます。</p> <p>定期的なパトロールを行い、散在性ごみ等の発生抑制や回収活動を市民とともにを行います。</p> <p>協働推進のために 市民がごみ減量・リサイクル活動に積極的に取り組めるよう啓発活動や各種事業の充実を図ります。</p> <p>定期的なパトロールを行い、散在性ごみ等の発生抑制や回収活動を市民とともにを行います。</p>	公園や街路樹等の剪定枝については、チップ化し、希望する町内会等に配布しています。
	市民・地域の行動	<p>ごみの減量・リサイクル活動に取り組むとともに、各種啓発事業にも積極的に参加します。</p> <p>ごみの出し方のルールを守り、分別の徹底に協力します。</p> <p>不法投棄をはじめ、散在性ごみの発生抑制や回収活動を行い、地域の環境美化に取り組めます</p>	ごみの総重量の多くを占める食べ残しを減らす	<p>ごみの減量・リサイクル活動に様々な取り組むとともに、各種啓発事業にも積極的に参加します。</p> <p>ごみの出し方のルールを守り、分別の徹底に協力します。</p> <p>不法投棄をはじめ、散在性ごみの発生抑制や回収活動を行い、地域の環境美化に取り組めます</p>	
	事業者等の行動	<p>企業 市の行う事業や地域の活動に積極的に協力します。</p> <p>資源循環型社会を担う役割を認識し、ごみの減量・資源化を実践します。</p>	<p>事業者等 剪定樹木のチップ化のさらなる促進</p>	<p>企業 市の行うごみ減量化等の事業や地域の活動に積極的に協力します。</p> <p>資源循環型社会を担う役割を認識し、ごみの減量・資源化を実践します。</p>	
その他			<p>世帯数の増加とごみの量は連動している実態があるので、その分析がごみの量を減らすための工夫につながるかもしれない</p> <p>堆肥化には場所が必要(住宅に近いと臭いと苦情)</p>		

【環境】

環境汚染・公害への適切な対策		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		環境基準が常に達成されている！	クレームが減少する	環境基準が常に達成されている！	環境基準の達成状況と公害クレーム数は必ずしも相関しないことから、環境基準の達成とした。
成果指標		環境基準達成状況	行政へのクレームの数	環境基準達成状況	
協働のあり方	行政の行動	<p>施策展開において環境リスク対策の情報提供や事業所の監視を強化します。</p> <p>環境基準の定期的な調査実施を継続します。</p> <p>協働推進のために</p>	<p>施策展開において</p> <p>協働推進のために</p>	<p>施策展開において環境リスク対策の情報提供や事業所の監視を強化します。</p> <p>環境基準の定期的な調査実施を継続します。</p> <p>協働推進のために</p>	
	市民・地域の行動	生活型公害対策に自ら取り組みます。	生活廃水が琵琶湖を汚し、水の悪臭の原因ともなっているため、生活において注意する	生活型公害対策に自ら取り組みます。	生活廃水のほとんどは公共下水道で処理されており、汚水、悪臭の原因とは特定できないと考えます。従って、騒音、悪臭などを含め生活型公害対策とします。
	事業者等の行動	大学やUNEPなどの研究機関 新たな物質による環境リスク対策に向け行政と連携を図ります。	大学やUNEPなどの研究機関 環境の基準値は、県や国のものを使用している	大学やUNEPなどの研究機関 新たな物質による環境リスク対策に向け行政と連携を図ります。	
その他					環境基準のほとんどは国県であるが、河川水質についての環境管理基準は市独自のものです。

【住宅・住生活】

住まいと住生活の魅力向上		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		住みたい・住み続けたいまちだと感じる！	安心して暮らせる世代が暮らせるまち	誰もが住みたい・住み続けたいと感じる、魅力と安心がある！	住宅・住生活の内容に焦点を絞り、「安心して暮らせる」「多世代」の趣旨を含めています。
成果指標		アンケート		市民意識調査	
協働のあり方	行政の行動	施策展開において ゆとりとうるおいのある市街地整備・住宅開発を誘導します。	施策展開において 行政によるエコライフのPR	施策展開において ゆとりとうるおいがあり、環境に配慮したライフスタイルを実現できるよう、市街地整備・住宅開発を誘導・指導します。	「エコライフ」の視点を含めています。
		協働推進のために	協働推進のために 行政による、安心して暮らせるような総合的な支援	協働推進のために 市民の方が安心して暮らせるように、住居等に関する情報の発信を進めます。	
	市民・地域の行動	良質な住宅・住環境をつくり、守ります。		地域の特性に応じた、ゆとりとうるおいのある良質な住宅・住環境をつくり、守り、育てます。	
	事業者等の行動	事業者等(デベロッパー、建設事業者)の質の高い、ゆとりある市街地整備と住宅づくりに努めます。		事業者等(デベロッパー、建設事業者)市街地整備・住宅開発において、ゆとりとうるおいづくり、環境への配慮に努めます。	
その他			ハード面では緑の多い住宅地。 世代によって魅力と感ずるもののイメージが異なる。 緑の多さ、交通機関や道路の充実などが不可欠。 買い物のしやすさ、利便性も重要。 ソフト面では子育て環境、医療関係の充実が住みやすさに。 子育て世代にとっての暮らしやすさ。 防災時に近隣で助け合えること。 エコなまちづくり。太陽光発電などへの補助金など。		

【住宅・住生活】

“まちなか”の魅力向上		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		草津の“まちなか”を利用する人が増える！	草津に住む人がまちなかに滞留する 安心して楽しめるまちなか	“まちなか”に人がつどい、 ゆっくり楽しんでいる！	「滞留」の趣旨を含めています。市在住者だけでなく、勤労者、市外の人を含めています。
成果指標		集客数	昼間人口の増加 店舗の減少がとどまる。新しい店舗が増える まちなかを歩く人の数が増える	設定中	意見を含んだ指標を検討中です。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において	施策展開において	施策展開において	活性化の取り組みを面として広げる趣旨を含めています。 「着地型観光」の視点などを、「リーディング・プロジェクト」として捉えています。 「ビジョン共有」の視点を含めています。そのため、「ビジョン」の具体的な内容ともなる「宿場町」については、はずしています。
		“まちなか”の質的向上を総合的に図っていきます。	活性化の取組を面として広げる	”まちなか”の広がりや「元気」をつくっていく総合的な視点を重視し、市街地の整備と土地利用の適切な誘導を図っていきます。	
		協働推進のために	協働推進のために	協働推進のために	
	市民・地域の行動	行政による、宿場町らしいまちづくりの誘導 行政が、商店主のやる気をもりたてる 事業主や地域住民をリードしていくような、魅力ある青写真を示す	地元関係者も含めた中で、将来の“まちなか”のビジョンを共有していきます。	“まちなか”の魅力をつくるために、積極的に行動していきます。	
事業者等の行動	事業者等(商店街など) “まちなか”の活性化に協力し、一体的な魅力アップに取り組みます。	事業者等(商店街など) 活性化の取組を面として広げる 宿場町らしさを打ち出す 草津らしいツアーイベントの開催	事業者等(商店街など) 事業者間の連携も強めながら、市民・地域と一体となった取り組みの展開を図ります。	事業者等の視点を含めています。	
その他			草津らしさを打ち出すこと。 子どもも高齢者も楽しめるように(安心して楽しめるように)。 遠くに行かなくてもまちなかで十分楽しみがあるように。 高齢の方も、車ではなくバスで出かけられるように。		

【上下水道】

水の安定供給		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		安全な水を毎日利用できる！	エコロジーにも配慮した、安心・安全・ローコストの上下水道。 ペットボトルでなく、水道水を草津市民が飲むように。	エコにも配慮した安心・安全な水を、いつも安価に利用できる！	水の安定供給であるため「下」は除きます。夜間電力の有効活用、水質検査計画に基づく水質検査の実施、など管理努力をしています。 水道水の安全性や低廉性、環境負荷の軽減に寄与する視点等をPRしていきます。
成果指標		水の安定供給日数	取水する水の水質改善度合い 季節ごとのカルキ臭など、安定した水質を 最終目的は「琵琶湖の良い水質」	苦情件数	水質項目によっては、日変動があり指標としにくく、水質・水量等に対する利用者からの苦情(意見等)が改善に反映しやすいため。 カビ臭発生時期の高度処理対応は、臭気強度により判断している。消毒のカルキ臭は末端ほど薄くなることで、全域を統一化できない。 水質項目では、①病原生物、②有害物質、③一般無機、有機物、④基礎的性状(PH、臭味、濁色度)50項目がある。琵琶湖原水水質を水道サイドではコントロールできないが、局部的水草繁茂や人為的汚染の排除など良好な水道水源としての監視、管理が必要である。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 水の安定供給のために施設の整備や老朽化した施設の更新を行います。	施策展開において 維持管理部分、民間ベースの考え方で適正な運営を図る。	施策展開において 上水道施設の整備や適切な維持管理、老朽施設の更新を計画的に行います。	ハード部門は水道事業者が行います。アセットマネジメントの手法を取り入れた設備更新、維持管理を行います。 集中監視により管理の効率化を図っています。共同溝は北山田浄水場で採用していますが、ロクハ浄水場の今後の改修時には検討します。 料金業務については既に民間委託しており、浄水業務については人材確保対策として、一部業務委託している。今後、水道法第24条の3による業務の委託の場合は、水道業務管理受託者に水道の管理に関する技術上の業務を委ねることについて検討していきます。
		水の安定供給のために浄水場の運営管理や施設の維持管理を行います。	管の埋設、更新にあたっては、例えば共同溝のように、工事を効率よく行う工夫をする。		
		水道事業の持続的な運営に向けて効率的経営と経営基盤の強化に努めます。	コストダウンに向けた一部業務委託の促進	水道事業の持続的な運営に向けて、効率的な経営に努め、経営基盤の強化を図っていきます。	
		地震や風水害、渇水などの自然災害、水源の汚染や破壊活動、その他機器の故障や停電などの各種事故事象等に対応できる市の維持管理体制を確保します。			
		協働推進のために	協働推進のために 節水、エコにつながる機器購入への補助・助成	協働推進のために 水源の保全や節水・エコライフなどにつながる情報提供等に努めます。	

【上下水道】

協働のあり方	市民・地域の行動	琵琶湖の水位低下等が原因で発生する渇水時期に、節水に協力します。	草津の水循環への意識を高める。	水の大切さを知り、水源である琵琶湖の水質を守って生活し、節水に努めます。	水道水源は全て琵琶湖であるため、水位低下と市民活動との因果関係は希薄であり、水循環意識向上だけでは解決できません。水位低下は自然起因によるものであり、取水制限が実施されると場合によっては給水制限となります。よって、節水協力は是非とも必要であります。		
		災害時などの断水や給水制限において、応急給水活動に協力します。	節水という観点から、雨水の再利用を行う住宅を増やしていく。			給水装置を適切に管理します。	雨水の再利用は、雑用水利用の観点で有用であります。漏水による無駄の防止や安全性の確保から各家庭の給水装置(本管分岐部～宅地・家屋内配管)の適切な管理も重要となります。また、災害時などには飲み水の備蓄や応援給水活動に協力することも重要です。
			市民の節水について、そもそも水道水を無駄に使う暮らしを考えていく。				あつて当たり前という間違った意識の改革が必要です。節水することは手軽に出来るCO2の発生削減であることを意識して、風呂の水の使いまわし、洗濯のまとめ洗いなどの節水実行に努めることが大切です。
事業者等の行動	事業者等 使用者の水道設備の維持管理を求めます。	事業者等	事業者等 節水につながる機器の購入を進める(水使用量の少ない洗濯機など)。	事業者等 水道施設の適切な管理を行うとともに、水源である琵琶湖の水質を守って事業を行います。	節水に努める市民が報われる料金体系等を検討する必要があります。		

【上下水道】

<p>その他</p>	<p>「水は商品」という側面もある。</p>		<p>水道法第2条で地方公共団体の責務として規定されています。ただし、技術上の業務に関して、法的責任を「第三者委託」として民間に委ねることも可能ですが、経理的、技術的基礎を有することの見極めなど将来にわたる安定維持管理体制の確保の検証が必要です。</p>
	<p>水道事業は市が担わなければならないのか？現在は公営企業が担っているが、極端な話をすれば民間が担うことも考えられるのでは。</p>		<p>水道経営は、法的に公営が基本です。技術的業務について法第24条の3により「第三者委託」として、技術上の責任を「第三者」に委ねることが出来ますが、災害時の業務分担など整理すべき課題が多いです。運転管理を民間に移行すると、市の管理技術が希薄になり業者指導や緊急時の対応に不安が出ます。技術者の継続的確保が重要です。</p>
	<p>民間と公営のメリット、デメリットを考える必要があるが、公営のメリットとしてのさまざまな点から見た「安心感」は大きい。</p>		<p>水道水の検査項目は50項目です。「ミネラルウォーター類(容器入り飲料水)の品質表示ガイドライン」のボトル水には①ナチュラルウォーター、②ナチュラルミネラルウォーター、③ミネラルウォーター、④飲料水などその内容表示が異なり、飲料水としての安全性を同一に求めることは出来ません。例えば、ミネラルウォーターでは18項目の水質基準が設定されています。あくまで嗜好品として自己責任でご利用いただくこととなります。</p>
	<p>水道水の方がペットボトル販売の水より検査項目が多く、安心である。</p>		<p>草津川など河川水の取水には、水利権許可が必要で、水量および水質に大きな変動のある河川水を利用する場合は、安全対策に係る維持管理費が大きく、動力費削減コストのメリットは少ないです。</p>
	<p>琵琶湖以外の水源も活用してはどうか。河川からの取水なら、流下していくので途中のポンプアップ施設のコストが現在より削減できるのではないか。</p>		

【上下水道】

汚水の適正処理	現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標	公共下水道に接続していない人がなくなる！	下水道普及率100%	市内の水洗化が完了する！	普及率は総人口に対する公共下水道を整備した区域内の人口の割合、水洗化率は下水道を整備した区域内の人口に対する実際に下水道に接続して水洗化した人口の割合をいいます。地理的条件などから、市内すべてに公共下水道を整備することはできませんので、この場合は水洗化率が適当です。
		雨水排水も含めて、環境への負荷が少ない下水道、下水処理に負担がかからないしくみづくり		
成果指標	水洗化率(処理区域内水洗化人口／処理区域内人口)	琵琶湖の水質改善 最終目的は「琵琶湖の良い水質」	水洗化率(処理区域内水洗化人口／処理区域内人口)	琵琶湖の水質改善は、県および県内全市町の課題です。草津市では公共下水道整備率が約95%(農業集落排水を含めると99%)に達しており、琵琶湖の水質改善における今後の本市下水道事業による影響は極めて軽微であると思われるため、指標としては採用しません。

【上下水道】

協働のあり方	行政の行動	<p>施策展開において</p> <p>未整備地域の整備を行います。</p>	<p>施策展開において</p> <p>維持管理部分、民間ベースの考え方で適正な運営を図る。</p>	<p>施策展開において</p> <p>未整備地域の解消につとめます。</p>		
		<p>施設の性能が落ちないように維持管理を行います。</p>	<p>管の埋設、更新にあたっては、例えば共同溝のように、工事を効率よく行う工夫をする。</p>	<p>下水道施設の性能が落ちないように維持管理を効率的に行います。</p>	<p>維持管理部分に「効率的」の文言を挿入しました。</p> <p>既設管については、できるだけ掘削しなくて済むように長寿命化対策によりライフサイクルコストの低減に努めます。共同溝の採用については道路管理者の方針に従います。</p>	
		<p>下水道の大切さの啓発に努めます</p>	<p>し尿処理、下水道整備など、適正に実施するよう罰則規定も含めた指導を行う。</p>		<p>下記の「協働の推進のために」において、意見を踏まえた内容としています。</p>	
		<p>協働推進のために</p>	<p>協働推進のために</p>	<p>協働推進のために</p>	<p>下水道への接続の促進を含めました。</p> <p>し尿処理(浄化槽、くみ取り)については、下水道事業ではありません。</p>	
	市民・地域の行動	<p>宅内の排水設備を定期的に清掃します。</p>	<p>草津の水循環への意識を高める。</p>	<p>下水処理の妨げになって環境に負荷をかけないように、油や固形物などを下水道に流さないようにします。</p>	<p>環境問題につながることを意識できるように文言を追加しました。</p>	
		<p>油や固形物などを下水道に流さないように気をつけます。</p>		<p>宅内の排水設備を定期的に清掃します。</p>		
	事業者等の行動	<p>事業者等</p> <p>工場などの排水設備を適正に維持管理します。</p> <p>排水の水質を定められた範囲に保ちます。</p>	<p>事業者等</p> <p>雨水を下水道、または河川に直接流し込まないように(雨水利用、地下浸透)。</p>	<p>事業者等</p> <p>工場などの排水設備の正しい使用と適正な維持管理をします。</p> <p>排水の水質を定められた範囲に保ちます。</p>	<p>本市は分流式のため、雨水を污水管に直接流入させることはありません。</p>	
	その他		<p>家庭からの雑排水など、できるだけ環境に負荷のかかるものは出さないようにしていく。</p>			<p>下水道への排水の環境負荷については、「油や固形物」の文言で設定しています。その他の雑排水については含んでいません。</p>
			<p>メンテナンス事業など、何回も掘り起こさないように工事を効率的に行うこと。</p>			<p>下水道事業では、通常のメンテナンスで掘り起こすことはありませんが、できるかぎり工事は効率的に実施するように努めます。</p>

【道路・交通】

安全で快適な道路づくり		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		交通渋滞が起こらない！	交通渋滞がおこらない、ふるさと感じる道づくり	スムーズに通行でき、草津らしさを感じる道路景観をつくる	旧草津川の歴史的資源等を活かした遊歩道の整備等、地域の環境や景観に配慮した整備を行うことにより、「ふるさと感じる道づくり」を進める。
成果指標		主要混雑区間おける、1台当たり渋滞損失時間	市内を車で走るときにかかる所要時間 事故の件数の減少 道路利用の満足度	環状道路および主要な都市計画道路等の整備率(整備済延長/整備予定延長)	第5次総合計画に定める「3つの環状道路」の整備を推進するため、道路の整備率を採用し、「所要時間」や「満足度」については、道路の交通状況等に左右されるため、成果指標とすることは難しい。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において	施策展開において	施策展開において	道路整備には、国庫補助等による財源の確保や地元調整を行う必要があるため、「将来ビジョン」として、整備の「年次計画」等を明確に示すことは困難であり、街路および市道の整備を行う箇所の計画については、都市計画や市道路網計画により定めています。当初予算の編成時に、短期的な道路整備計画の策定や優先順位を定めるための調査を実施しています。
		市民の意見や要望を反映しながら、交通基盤の計画的な整備促進等を図ります。	将来のビジョンを明確に示す	本市の交通基盤についての将来ビジョンを市民とともに描きながら、計画に基づく着実な整備促進等を図ります。	
	無電柱化等の実施に向けて、地域の機運を高めていきます。 協働推進のために	協働推進のために	環境や景観に配慮した道路整備を推進します。 協働推進のために 市民の意見等を反映できる場を提供できるよう努めます。		
	無電柱化等の実施に向けて、協力します。 道路の利用を通じて、交通基盤整備等について様々な意見を市に発信します。	地域の将来像を打ち出す 市民や地域が協力して、不法駐輪をしないようなモラル向上を促す 市民や地域が、家の前の維持管理(清掃)などに協力する 市民や地域による、草刈のボランティアなどを実施	市民や地域の意見や要望を集約し、「地域の道づくり」について提案します。 道路清掃や草刈、駐車駐輪モラルの向上など、道路を守り大切に使うための市民活動の展開を図ります。		
事業者等の行動	企業・大学等 産官学連携により、人にやさしく、安全で快適な利便性の高い交通基盤整備等に向けた相互の研究を推進します。	企業・大学等	企業・大学等 産官学連携により、人にやさしく、安全で快適な利便性の高い交通基盤整備等に向けた相互の研究を推進します。	「道路・交通」に絞った内容とする。 行政による道路の維持管理だけでなく、地域の協働により、市民や地域が自主的に実施する道路清掃や草刈などの市民活動を推進し、交通環境の改善を図ることが重要です。	
その他			駅周辺が混雑。 車交通とまちなかのアクセスを考えていくこと(まちなかの利便性)。 歩行者も安心して歩けるように。 道で遊んだ思い出など、ふるさと感じる道づくりも必要。		駅周辺や中心市街地の渋滞緩和やアクセス性の向上を図るため、道路整備を計画的に進めており、歩行者が安心して歩けるように、交通安全対策として、市道等のカラー舗装や防護柵等の交通安全対策を進めています。

【道路・交通】

公共交通体系の充実		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		公共交通機関が便利で市内の移動がしやすい！	安心してまちなかを行き来できる	公共交通機関が便利で市内の移動がしやすい！	なるべく具体的な目標としたい。「移動がしやすい」に「安心」の趣旨を含めています。
成果指標		市内バス交通の利用者数	公共交通機関の利用者数	市内バス交通の利用者数	「公共交通機関」による「市内移動」のしやすさを説明するための代表値として選択しています。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 市民ニーズを踏まえた、新たな公共交通システムを整備します。	施策展開において 将来のビジョンを明確に示す 商店街の活性化とリンクした交通体系の検討	施策展開において 持続可能な公共交通手段のひとつとして、乗合タクシー実証運行等を行います。	商店街の活性化とのリンクについては、「リーディング・プロジェクト」の中で捉えています。
		協働推進のために	協働推進のために いろんな町内、いろんな思いをどうまとめていくのかについての調整	協働推進のために	
	市民・地域の行動	公共交通サービスを積極的に利用します。		公共交通サービスを積極的に利用します。	
	事業者等の行動			「公共交通の活性化」を共通の目標とし、事業者間の連携の強化に努めます。	
その他			交通渋滞を緩和するくらいの公共交通機関の充実。		車社会を転換することは、低炭素社会の実現のためにも必要ですが、一家に車が複数台あり、また個人主義でドア・ツー・ドアの利用形態を転換するには、ソフト面を含めた啓発も平行して進める必要があります。

【道路・交通】

バリアのないまちづくり		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		車いすで「まちなか」を自由に移動できる！	安心してまちなかで過ごせる	車いすで「まちなか」を自由に移動できる！	ノーマライゼーションの立場から、バリアフリーが端的・具体的な目標イメージとして選択しています。
成果指標		条例に適合した建築物の数(棟)	まちなかを歩く人の数が増える 年代別のアンケート(多様な世代が満足できるまち)	バリアフリー化された道路延長	端的・具体的な代表値として選択しています。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 条例に適合した建築物を建築するよう指導・啓発を行います。 協働推進のために	施策展開において 将来のビジョンを明確に示す 協働推進のために	施策展開において 「草津市バリアフリー基本構想」に基づいて重点整備地区内の施設や経路の移動等の円滑化を推進します。 協働推進のために	既に構想を策定しており、これを踏まえた行動を示しています。
	市民・地域の行動				
	事業者等の行動	事業者等(建物所有者など) 条例対象の建築物の所有者等は、条例に適合した建築物の建築に努めます。	事業者等(建物所有者など) 地域の将来像を打ち出す	事業者等(建物所有者など) 建物建設時等において条例を踏まえるとともに、既存建築物についても、条例に適合する改修等に努めます。	具体的な行動を示す内容としています。
その他			車と人を分けていくこと。 安心して歩けること、そして楽しい道づくりを。		

【農林水産】

農業の振興		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		地元の農産物が好きな市民が増える！	地元農産物を求める市民が増えること。 農業経営が成り立つ農家が増えること。	地元農産物を求める市民が増える！	「好き」とどまらず「求める」という生活行動の視点を含める趣旨です。「農業経営」は、上記と表裏一体の内容と考えます。
成果指標		地元農産物を購入したことのある人(市民意識調査)	農業経営が成り立つ農家の数 地産地消について、流通経路の工夫 新しい担い手の数	地元農産物を購入したことのある人(市民意識調査)	代表値として選択しました。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において新しい技術や生産方式等の情報を農業者に提供します。 市民にわかりやすい、地産地消の生産・流通システムの構築を図ります。 持続的・安定的な農業経営が確立できるよう、指導・助言を行います。 生産段階、販売での情報提供を充実させ、農産物に対する市民の信頼を高めます。 協働推進のために	施策展開において草津の農産物についての積極的な情報発信 協働推進のために	施策展開において持続的・安定的な農業経営が確立できるよう、指導・助言を行います。 草津農産物についての積極的な情報発信を行います。 協働推進のために市民にわかりやすい、地産地消の生産・流通システムの構築を図ります。	意見を踏まえて修正しました。
	市民・地域の行動	農業・農地が、地域の環境保全など、多面的機能を有していることへの理解を深めます。 市民一人ひとりが地域農業を支える主体であることを認識します。	草津で生産されたものを草津の人が買う	草津で生産された農産物を、積極的に購入します。 農業・農地が、地域の環境保全など、多面的な機能を有していることへの理解を深めます。	“もの”と表現した場合、広い意味に捉えられるので“農産物”とした。
	事業者等の行動	農業生産者等 ネットワークを強めて地産地消の推進に取り組むとともに、地域ブランドの確立に努めます。	農業生産者等 地産地消に向けて、生産者も意識を変えることが必要。高いものを少数売るのでなく、一定量を消費してもらう流通市場を考えていくこと。 野菜・果樹・畜産など、稲作だけでない多様な展開を考えること。 手間を掛けることで品質を向上させることもブランド化につながる。 消費者のニーズに合わせた個別生産 観光農園、体験型事業などの新しい事業展開 草津の農産物についての積極的な情報発信	農業生産者等 農産物の多品種・多品目の安定供給を図ります。 地産地消の流通システムをつくります。 草津農産物についての積極的な情報発信を行います。	販売業者においては、多品種・多品目の安定供給を望まれている。
その他			農産物としては近郊農業が中心だが、日常的に食べるものはあまり栽培されていない。 農業経営が成り立つことがまず前提条件としての成り立つことが必要。		

【農林水産】

水産業等の振興		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		琵琶湖の魚を食べる市民が増える！	漁業従事者、経営が成り立つこと。	琵琶湖固有の魚が増え、その魚を買う人が増える	「漁業経営」と表裏一体の内容と考えます。
成果指標		水産物を購入したことのある人(市民意識調査)	漁業経営が成り立つ従事者の数 琵琶湖の水質改善による漁業環境の改善 新しい担い手の数	水産物を購入したことのある人(市民意識調査)	代表値として選択しました。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において	施策展開において	施策展開において	漁獲量の確保する意味で“つくり育てる漁業”への転換が必要。草津ホンモロコ等。 加工品を購入する家族が増えているので、新たな加工品開発が必要である。
		“獲る漁業”から“つくり育てる漁業”への転換のための技術指導等を行います。	草津の漁業についての積極的な情報発信		
		付加価値の高い新たな加工品開発のための助言を行います。		付加価値の高い新たな加工品開発のための助言を行います。 草津の漁業についての積極的な情報発信を行います。	
	協働推進のために	協働推進のために	協働推進のために	“獲る漁業”から“つくり育てる漁業”への転換のための技術指導等を推進します。	
市民・地域の行動	琵琶湖の環境を守る意識を持って行動します。	草津で生産されたものを草津の人が買う	草津で生産された水産物を、積極的に購入します。	“もの”と表現した場合、広い意味に捉えられるので“水産物”とした。	
事業者等の行動	(琵琶湖栽培漁業センター等)	(琵琶湖栽培漁業センター等)	(琵琶湖栽培漁業センター等)	情報発信は「行政の行動」に含んだものとしています。	
	“獲る漁業”から“つくり育てる漁業”への転換のための技術指導等を行います。 (漁業従事者等)	(漁業従事者等) 安定した生産量・漁獲量の確保 草津の漁業についての積極的な情報発信	(漁業従事者等) 安定した漁獲・生産量の確保を図ります。 草津の漁業についての積極的な情報発信		
その他			漁獲量、絶対量が少ない。 フナは全て鮎寿司に使われる。モロコは休耕田を活用して養殖されている。		

【商工観光】

商業の振興		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		身近な地域内で、日常の買い物できる！	雇用機会が増える。 ハローワークが空になるように。	市内の商業者が活発に活動する	「雇用」面は、就労支援に包括すべきという観点です。
			まちなかに活気が出る。		意見を含んだ内容と考えます。
成果指標		アンケート:「身近な買い物」の利便性	税収入の増加 就労者の数の増加 事業所の数の増加	事業所の売上高	端的・具体的な代表値として選択しています。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 地域のまちづくり活動と「まちなか」の賑わい活動の相乗効果が得られるよう図ります。	施策展開において	施策展開において 地域のまちづくり活動と「まちなか」のにぎわいづくりの相乗効果を生み出していきます。	「立地」を含めた有効活用の視点として記載する。
		事業者(商業者)の意欲的な取り組みや次代を担う人材育成の取り組みを支援します。		商業者等による、次代を担う人材の育成や、独自の意欲的な取り組みなどを支援します。	
	協働推進のために	協働推進のために	協働推進のために	空き店舗等について、立地条件を踏まえた有効活用を進める仕組みをつくりまします。	
	市民・地域の行動	身近な商店街や商業地で買い物や余暇活動を楽しみます。	人が集まることで商業、まちなかが活性化すること。まちなかなどを積極的に利用すること。	身近な商店街や商業地で買物や余暇活動を楽しみます。	
	事業者等の行動	(商工会議所や地域事業者) 連携を強めて、関係者間での経営意識向上を図ります。	(商工会議所や地域事業者) ここに来ないと手に入らないものを作る(ブランド化)	(商工会議所や地域事業者) 連携を強めて、関係者間での経営意識向上を図り、独自性(ブランド化)を持たせた地域づくりを進めます。	
		(商業者) 消費者のニーズに応じた商品開発やサービスの提供を行います。	(商業者)	(商業者) 消費者のニーズに応じた商品開発やサービスを提供します。	
その他			ベンチャーは大きなスペースは必要でないが、こうしたニーズにちょうど当てはまるような物件が少ない。(ワンフロアや店一軒などは大きすぎる。)		

【商工観光】

工業の振興		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		企業がたくさん集まる！	雇用機会が増える。 ハローワークが空になるように。	元気な企業がたくさん集まる！	成果指標を考慮し、「元気な」を追加した。
			物流コストに左右されない企業の誘致 (IT関連、研究所など)。		企業立地促進法の基本計画に掲げる 「高度モノづくり」、「環境」、「医療・健康 福祉」、「IT」分野でのマザーファクトリーを重 点的に誘致する
			まちなかにベンチャー企業が増えて活 気が出る。		再提案で包含しています。
成果指標		創業、第二創業、立地件数	税収入の増加 就労者の数の増加 事業所の数の増加	創業、第二創業、立地件数	工業関連のみの税収は把握できない。 代表値として選択しました。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 企業立地優位性の対外発信を強化しま す。 まとまりのある工業用地の確保を進め、 企業の立地を推進します。 企業訪問等によるニーズの把握を行う とともに、積極的な支援を行います。 協働推進のために	施策展開において 行政の立場からの情報発信 協働推進のために	施策展開において 企業立地優位性の対外発信を強化しま す。 まとまりのある工業用地の確保を進め、 企業の立地を促進します。 企業訪問等によるニーズの把握を行う とともに、市内操業への積極的な支援を 行います。 協働推進のために	意見を含んだ内容と考えます。
	市民・地域の行動	市内で積極的に就職し、継続して暮ら します。	NPOなど、空きスペースを有効活用し てもらえるように、人と人をつなげる取 組を。 ベンチャーのニーズに即したスペースの 提供(民間テナントは大きすぎる)。 物件やスペースなどの情報発信	積極的に市内で就職し、継続して暮ら します。	市内空きスペースの有効活用を促進す るため、インキュベーションの退去企業(ベン チャー企業)に一部賃料の助成をおこなっ ており、それらを通して、地域に密着し た事業展開を推進します。 不動産協会と連携し、物件の情報収集 を展開中です。
	事業者等の行動	(学生・起業家) インキュベーション施設を活用して起業 にチャレンジします。 (製造業などの工業関連地域事業者)	(学生・起業家) (製造業などの工業関連地域事業者)	(学生・起業家) インキュベーション施設を活用して起業 にチャレンジします。 (製造業などの工業関連地域事業者)	早期の「ブランド化」は困難。交通利便性 による企業の集積、大学やインキュベ ーション施設が集積による新産業が創出しやす い環境等の対外発信をとおし、将来的 な都市としての「ブランド化」を推進します。
			ここに来ないと手に入らないものを作る (ブランド化)		
		(企業) 高い環境基準を背景とした「草津ブラン ド」の価値を把握し、積極的に活用しま す。 (企業・大学) 産学連携や企業間連携による新産業の 創出や新たな取り組みを展開します。	(企業) 空き店舗や空きテナントなどの既存施 設を積極的に有効活用していく。 (企業・大学) 立命館大学や龍谷大学などの学生・研 究者を活かしていく(人材としての活用)	(企業) 空き店舗や空きテナントなどの既存施 設も積極的に活用し、事業者と連携して 事業を展開します。 (企業・大学) 産学連携や企業間連携による新産業の 創出などを展開します。	

【商工観光】

その他	どんな企業に来てほしいのかを考える必要がある。IT産業の集積、企業の研究所などがよい。	上記参照
	ベンチャー企業がまちなかで活動すること、人の数としてはそれほど増えないかもしれないが、元気・活気が出るのが何よりの効果。	上記参照
	草津線沿線への工業誘致を広げていくこと。第二名神によって企業が他地域に流れているが・・・	立地に際した優遇制度や交通アクセスの対外発信強化をとおり、企業立地を推進します
	ベンチャー企業の育成、人材確保という点とリンクしている。	インキュベーション施設と連携し、人材の育成等推進します

【商工観光】

観光の振興		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		草津を楽しむ観光客が増える！	収入を上げられる産業としての観光の確立 名所旧跡以外の新しい魅力、新しい観光をつくっていくこと。	草津を楽しむ観光客が増える！	収入を上げられる産業観光は理想ですが、地域の実像を考えると困難かと思われます 「施策」ではなく「施策がもたらす結果」のイメージに絞って表現しました。
成果指標		観光入込客数	観光入り込み客数 観光客の滞在時間 観光客が草津で使うお金の額(草津に落とすお金)	観光入込客数	実測データとして困難です。 実測データとして困難です。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において	琵琶湖を中心とした新しい魅力の情報発信	施策展開において	びわ湖・草津でPRしているところであり、「琵琶湖・宿場町の草津」は大前提であり、支える事業としてこれまでにない切り口で草津の観光スタイルを確立する。
		地域発見型観光など、新たな観光イメージを確立します。	琵琶湖を積極的に売り出していく。	地域発見型観光など、新たな観光イメージを確立します。	
		市民への地域魅力のPRと魅力資源を結ぶルートづくりを進めます。既存の観光資源を最大限に生かしていきます。協働推進のために	琵琶湖を積極的に売り出していく。	琵琶湖をはじめとした、既存の観光資源を最大限に生かしていきます。協働推進のために	
	市民・地域の行動	地域資源のよさや文化についての理解を深めて、草津を再発見します。「クチコミ大使」「市民宣伝マン」となって、草津の魅力を広めます(事業者)	琵琶湖を積極的に売り出していく。(事業者)	地域資源のよさや文化についての理解を深めて、草津を再発見します。「クチコミ大使」「市民宣伝マン」となって、草津の魅力を広めます。(事業者)	琵琶湖を含んだ内容としています。
		“草津ブランド”の強化に協力し、地域文化の醸成につながる支援を行います。	琵琶湖を積極的に売り出していく。	琵琶湖をはじめとした、既存の観光資源を最大限に生かしていきます。	琵琶湖を含んだ内容としています。
	事業者等の行動	ここに来ないと手に入らないものを作る(ブランド化) 体験事業のバリエーションを増やす(農業・漁業など)。 季節ごとにさまざまな体験ができる場所・メニューの提供(農業・漁業など)。 オートキャンプ場の整備	草津に来ないと手に入らない、ブランド商品やサービスをつくります。 農業・漁業などと連携した、様々な体験型観光の展開を図ります。		事業化については困難です。
その他			高速道路などを使って、遠方から収穫体験などに来る客を増やす。 車による来訪が多いが、駐車場の不足、市内道路が走りにくいなどのアクセスの問題などがある。 単発でなく継続して来てくれるように。		

【商工観光】

勤労者への支援		現案	市民会議意見	再提案	市民会議意見対応の説明
目標		安心して働き暮らせる！	雇用機会が増える。ハローワークが空になるように。	安心して働き暮らせる！	勤労者への支援は、雇用機会の創出のみでなく、企業内同和教育の推進など、働きやすい職場づくりに向けた啓発等の事業を実施しています。
成果指標		完全失業率		有効求人倍率	完全失業率は全国及び都道府県単位でしか把握できないため指標から削除する。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 雇用不安についての相談に応じます。	施策展開において 雇用機会の提供	施策展開において 就労困難者に対する就労相談に応じます。 企業内同和教育の啓発など、働きやすい職場づくりに関する情報提供等を行います。	湖南地域職業訓練センターの運営費負担等必要な支援をしています。 各種支援策について、ハローワークを通じて国が実施しています。
		協働推進のために	協働推進のために 職業訓練などへの公的な支援 産業転換に向けた人材育成のための研修、各種支援などの実施。	協働推進のために 職業訓練施設などへ支援を行います。	
	市民・地域の行動	市内で積極的に就職し、継続して暮らします。	完全失業率が下るよう協力	市内で積極的に就職し、継続して暮らします。	
事業者等の行動	(事業者) 市内人材を積極的に雇用します。 福利厚生を充実させます。	(事業者) 雇用機会の提供	(事業者) 地域の雇用創出に努めます。 福利厚生の充実を図ります。	安心して意欲をもって働くことも大切であると考えます。	
その他			企業や事業所として、人を雇いにくい時代である。 産業振興、人材育成と連動したもの。		厳しい経済状況により、雇用創出に大きな影響が生じています。 国の動向を注視して参ります。

【コミュニティ・市民自治】

地域コミュニティ活動の活性化		現案	市民会議意見	各再提案	市民会議意見対応の説明
目標	地域コミュニティ活動への市民意識が高い！	多様なあり方が尊重される(コミュニティ活動への多種多様なかわり方) 流動的な人(ヨソモノ)もうまくかかわれる(ルールもできる) 住んでいるところへの関心がある	地域コミュニティ活動への“参加の窓口”がさまざまに用意されている！		意見を含んだ内容としています。
成果指標	アンケート:地域コミュニティ活動への参加意向	町内会ごとのありようがある(対応するサポートの多様化)	市民意識調査:「過去1年間、町内会の活動に参加しましたか」		特色のある町内会活動を支援し、市全体へ広げるよう努めます。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 市民の自治意識が高まるような取り組みを展開し、積極的に市政に関心を持って参画していただけるように努めます。	施策展開において 防災意識を下げないような支援をする	施策展開において 市民が積極的に市政に関心を持って参画できるよう、市民の自治意識の高揚に努めます。	多様な尺度の税制は、基本方針にそぐわないものと考えます。 共通の目的を実現するために、責任と役割を分担し、相互の信頼と理解のもと、お互いの特性や能力を持ち寄って連携・協力します。
		協働推進のために	現代社会に合った多様な尺度の税制 協働推進のために	町内会の活動などを支援します。 協働推進のために	
			学校行事への参加を促す 町内会をもたない新しい地域へのフォローをする 各市民センターに市民活動のパートナーとなる人材を配置し、継続的な支援を行う	町内会への加入を促進するとともに、町内会の設立、学(地)区単位で活動される自治連合会への加入を促します。	
	市民・地域の行動	一人ひとりが地域のコミュニティを構成する一員であるという認識を持ちます。 町内会活動等に積極的に参画します。	地域と大学・企業との敷居を下げしていく 自治会活動に参加したくなるようなモチベーションづくり(スポーツやサークルなどを通じた顔見知りの取り組み等) 町内会が、住民の困りごとを解決できる存在になる(できる部分で)	一人ひとりが地域のコミュニティを構成する一員であるという認識を持ち、町内会活動等に積極的に参画します。 地域の人材を活かし、参加しやすい町内会活動の展開を図ります。	地域にある諸問題は、個人や家庭だけで解決するのは難しく、地域住民が力を合わせなければ解決できないものが多いです。町内会では、各人が持っているそれぞれの要望や意見を吸収し、それについて十分話し合い、利害を調整し、地域全体の課題として高め、一つずつ解決していくことが大切であると考えます。
	事業者等の行動	大学等 地域の一構成員として、地域の取り組みに学生の参画を呼びかけます。 事業者等 大学・事業者等	大学等 10,000人以上の学生が地域に関わるように 事業者等 企業コミュニティの存在 大学・事業者等 ボランティア活動・イベントで企業・大学と連携する	大学・事業者等 地域の一構成員として、地域の取り組みに学生の参画を呼びかけます。 事業者等 地域の一員として社会貢献に努めます。 大学・事業者等 地域の一員として社会貢献に努めます。	大学や学生、事業所においても地域の環境の共同管理を行う組織として、自主的かつ積極的に関わることが大切です。また、町内会等いろいろな組織と交流することで、地域が活性化されるとともに地域の輪が広がります。
	その他		(受益者負担型)を導入するなどユニークな考え方も必要 地域と大学・企業との敷居がまだ高い(京都に比べて)		先進地研修に対する支援を行うなど、先進的取り組みの情報収集に努めます。

【コミュニティ・市民自治】

市民活動の活性化		現案	市民会議意見	各再提案	市民会議意見対応の説明
目標		ボランティア・NPOによる活動がさかんである！	市民活動の自由度が高い 市民活動が継続する	市民活動団体が幅広い分野で活動している！	自由度は明確な定義がないので、市民活動全般について積極支援を行うこととします。
成果指標		市民活動等の団体数	市民活動の自由度の高さ	市民活動等の団体数	数値化することが難しい意見のため原案再掲します。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において	施策展開において 民生委員制度など、行政にしかできない個別対応で、行政の役割を果たす	施策展開において 広報くさつを活用した市民活動団体の紹介や、企業等の社会貢献活動についての情報提供を充実させていきます。	「行政の行動」について整理を行いました。 広報くさつを活用した活動団体紹介など、市民全体へのPR活動などを実施する。
		協働推進のために	協働推進のために ふんわりしたサポート(直接ではなく) 市民活動や企業等の社会貢献活動について、情報提供を図る(例えば利用可能施設の紹介等)	協働推進のために 柔軟な対応により、市民と団体とを繋ぐ役割を担っていきます。	
	市民・地域の行動	各種の市民活動に積極的に参画します。	ボランティアの二極化(地域参加・個人の楽しみ)の現状の中、地域参加型ボランティアを増やしていく 地域社会のサポートが必要な「高齢者」と「子ども」の分野を、地域に関わるためのきっかけとする 町内会では解決できない分野をNPOに任せていくことで、町内会の業務は限定的にしていく	NPOやボランティア等と町内会などの地縁組織との交流を図り、共に協力し合える体制づくりを進めます。	市民活動団体と地縁組織の連携・協力が大切であり、意見を含んだ内容としました。
事業者等の行動	企業 行政との連携により、新たな協働事業の創出に努めます。	大学等 大学へ遊びに来てもらう(地域住民がゲストに) 事業者等 市民活動を社員ぐるみでやっていく 大学・事業者等 企業・大学の施設を提供する ボランティア活動・イベントで企業・大学と連携する	大学・事業者等 ボランティア活動やイベント等、市民活動の様々な場面で連携を進めます。 市民活動や地域活動に対してのアドバイスなど、地域の一員として社会貢献に努めます。	市民活動などへの様々な支援や連携がありますが、アドバイスをすることにより、まずは情報の共有化を図ることができると考えます。	
その他			ボランティア休暇は制度があってもなかなか取れない		

【コミュニティ・市民自治】

市民まちづくり支援体制の充実		現案	市民会議意見	各再提案	市民会議意見対応の説明
目標		市民がまちづくりに参画しやすい！	必要最低限の行政支援が揃っている (市に依存しないことが前提) 個々の市民まちづくりのニーズに 対応した支援・サポートが充実する	市民まちづくり活動の 支援体制が充実している	意見を含んだ内容に修正しました。
成果指標		アンケート:各種まちづくり協働事業への 参加意向	支援メニューの数(選択の幅の広さ) 支援メニューの認知度(市民に知られて いるかどうか)	アンケート:支援メニューについて「この 支援メニューを知っていますか？」	各支援メニューについて、利用頻度、満 足度から市民ニーズを把握し、メニュー の充実を図りたいと考えます。 他にも、「利用度」や「満足度」により調査 を行います。
協働のあ り方	行政の行動	施策展開において 市民団体の活動が円滑に行えるよう補 助金の支出、活動に対する支援を行い 協働推進のために	施策展開において 活動に関するお金の支援のみでよい 協働推進のために	施策展開において 協働推進のために	お金の支援のみならず、情報や機会の 提供等も必要と考えます。 市民センターが地域におけるまちづくり の拠点となることで、地域毎の特色ある まちづくりができるものと考えます。 「ゆうゆう人」バンクでの登録者の紹介を 行っており、情報の提供と人材活用の促 進をしています。
			活動のための情報(補助金・利用可能施 設等)の情報を得られるしくみづくり	市民のまちづくり活動が円滑に行えるよ う補助金の支出や情報の提供等の支援 を行います。	
			遊休施設の活用(選挙の投票所と同じく らしい規模で施設開放していく) ボランティアセンター(社協)からの活動 指導 嘱託でもよいので、「ゆうゆう人」などを 活用し、エリア別にコーディネーターを委 嘱配置する	まちづくりセンターや市民センター等のま ちづくり活動の拠点の整備を進め、支援 体制の強化を図ります。	
	市民・地域の行動				
	事業者等の行動				
	その他				

【情報・交流】

まちづくり情報の提供の充実		現案	市民会議意見	各再提案	市民会議意見対応の説明
目標		地域のまちづくり情報が簡単に手に入る！	情報窓口の一本化	地域のまちづくり情報が簡単に手に入る！	
			多様な情報入手・伝達手段の確保 受け手の立場に立った情報提供		
成果指標		アンケート: 市政情報等の入手のしやすさ	情報入手手段の認知度	アンケート: 市政情報等の入手のしやすさ	情報入手の媒体の割合を把握することで効果的な情報発信ができると考える。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において 行政情報のわかりやすい迅速な提供に努めます 様々な媒体を用いた情報提供に努めま 協働推進のために	施策展開において 協働推進のために 下記の民間活動に対する資金的援助	施策展開において 行政情報の迅速な提供に努めます。 様々な媒体を用いた情報提供に努めま 協働推進のために 932情報ネットなどの民間活動に対する 支援を行います。	
	市民・地域の行動	地域まちづくり情報を整理します	ボランティアセンターへのボランティアス タッフ参加 地域でつくるホームページ(ここに学生が 参画する)	自主的な情報発信に努めます。	
	事業者等の行動	中間支援組織等	中間支援組織等 中間支援組織が名簿の羅列に終わらな い「使える」市民活動情報提供 中間支援組織による情報発信のための 人的体制充実 情報発信のための学生ボラ・学生バイト の活用(ホームページづくり・取材など) コーディネーター役の体制充実 様々な市民層や意見を想定しての情報 提供(完全は無理でも、なるべく100% 対応できるようにめざす)	中間支援組織等 市民団体や学生との協働により、コミュ ニティ事業団が運営する932情報ネット の情報発信を充実させます。	情報発信の充実を進めることから、取り 組みを行うことが大切であると考えます。
その他					

【情報・交流】

多様な交流活動の展開		現案	市民会議意見	各再提案	市民会議意見対応の説明
目標		週に1度は、新しい出会いとふれあいがある！	多様性が尊重されるまちづくり(価値観の押し付けのないまちづくり)	新しい出会いとふれあいがある！	意見を含んだ内容であると考えます。
成果指標		市民交流イベント等の開催件数	各種施策・行政計画にこの考え方が反映されている	市民交流イベント等の開催件数	より幅広い民間レベルの交流を図ります。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において	施策展開において	施策展開において	
		姉妹都市交流活動を展開します	トップダウン・がんじがらめの旧来システム(たとえば下請けとしてのコミュニティなど)だけでは、地域によってはうまくいかないということの認識	市民の国際意識の高揚のため、姉妹都市等との交流や草津市国際交流協会の活動を支援します。	
		出会いとふれあいの機会充実を図ります 近隣自治体との連携によるまちづくりをリードします 協働推進のために	行政区域にこだわらない考え方	出会いとふれあいの機会充実を図ります 近隣自治体との連携によるまちづくりをリードします。 協働推進のために 市民に国際交流の場を提供します。 市民の自主的な交流活動を促していきます。	
	市民・地域の行動	様々な交流活動に積極的に参画します	「(コミュニティ活動に)参加しない人は参加しない」この認識からスタートする	多様な交流を日常的に楽しみます。	日常生活において、あらゆる人種の人々が気軽に交流できるよう地域づくりが重要であると考えます。
			活動や組織をニーズ別・テーマ別にとらえていく 自分自身の身を守るためにコミュニティが必要であるということを個々に認識する ある程度の「アメ」と「ムチ」は必要(参加する人へのメリット・参加しない人へのデメリット)	国際交流活動に積極的に参加します。 お互いを尊重し、あらゆる人が住みよい多文化共生の地域づくりを進めます。	
	事業者等の行動	大学等	大学等	大学等	大学等
大学へ遊びに来てもらう(地域住民がゲストに) 事業者等 市民活動を社員ぐるみでやっていく 大学・事業者等 企業・大学の施設を提供する ボランティア活動・イベントで企業・大学と連携する			市民・行政などとの連携を視野に入れた事業の展開を図ります。		
その他			まずは理想・幻想からの脱却からしか、コミュニティは始まらないだろう		

【情報・交流】

大学などを生かしたまちづくりの展開		現案	市民会議意見	各再提案	市民会議意見対応の説明
目標		学生が地域で頼りにされ、活躍しています	卒業後も草津市に学生が残る 地域と大学が連携している	学生が地域で活躍している！	意見も踏まえて、表現を整理しました
成果指標		学生の地域活動状況	【討議の結果、原案に賛同】 卒業後も草津市内に残る学生の割合	学生の地域活動状況	意見を含んだ内容であると考えます。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において	施策展開において	施策展開において	意見を踏まえ、再整理しています 施策展開において含めるものとします
		自己責任、自己決定のもと、政策が遂行できるように努めます		大学等がもつ豊富な人材・情報・技術・施設などを活かして、大学等とのネットワークによるまちづくりを進めていきます。	
	大学等がもつ豊富な人材・情報・技術・施設などを活かして、市民・事業者・大学等行政のネットワークによるまちづくりを進めていきます。	協働推進のために	協働推進のために		
	協働推進のために	大学とともに地域から大学・学生へのオーダーをとりまとめる仕組みをつくる 【大学とともに】学生ベンチャーの創業支援	大学と地域がより連携できる仕組みづくりに取り組みます。		
市民・地域の行動	大学による、生涯学習講座等を楽しみます	学生の行動力を活用する	大学による、生涯学習講座等を楽しみます。	表現の趣旨を含んでいます	
	学生との交流活動に積極的に関わります	大学教授のおこなっている研究への協力	大学の研究に積極的に協力をします。	市民・地域の行動として文言を整理しています	
事業者等の行動	大学等有する知的資源をもって、地域づくりに協力します	大学等 大学が学生活動の紹介窓口の一本化(わかりやすいプラットフォームづくり)	大学等	他の意見の趣旨を含んだものとしています	
	サービスラーニングをはじめ、地域との交流を通じて、社会の動向やニーズに対応した教育・研究を行います	成果発表の場としての学生の活動を尊重する 学生の行動力を地域で使ってもらう 行政とともに地域から大学・学生へのオーダーをとりまとめる仕組みをつくる 行政とともに学生ベンチャーの創業を支援する	サービスラーニングをはじめ、地域との交流を通じて、社会の動向やニーズに対応した教育・研究を行います		
	企業	企業	企業		
	新技術・商品や次世代型産業の開発に向けた産学連携をいっそう進めます。		新技術・商品や次世代型産業の開発に向けた産学連携をいっそう進めます。	学生ベンチャーとの連携も図りながら、新技術の開発に取り組んでいくものとなります。	
その他					

【行財政マネジメント】

市民から信頼される行政運営		現案	市民会議意見	各再提案	市民会議意見対応の説明
目標		市政への市民の信頼が高い！	平穩無事に施策が進む 市民の関心があるテーマは常に見てい	市政への市民の信頼が高い！	
成果指標		アンケート: 市政への評価	市政への関心度	市政アンケート	市民の市政への信頼向上が重要であると考えます。
協働のあり方	行政の行動	<p>施策展開において 市民の市政情報の公開を求める権利が十分に尊重されるようにします 個人のプライバシーに関する情報は最大限に保護します</p> <p>議会活動の透明性を図ります</p> <p>協働推進のために</p>	<p>施策展開において 議員給与の適正化</p> <p>現状の広報はたいへん分かりやすくよい 生活にダイレクトに関わる情報の、早めの公開(例: ゴミ収集に関すること、受益者負担に関すること)</p> <p>協働推進のために 行政・議会内の生の議論の様子を、ケーブルテレビ等でどんどん流していく(例: 各種委員会・審議会・部課長会議等)</p>	<p>施策展開において 法令の順守等を行い、市政の透明化を図ります。</p> <p>地域経営の視点に立った、行政改革の推進や政策形成能力の向上を図ってき 市民が最も身近に利用する窓口については、わかりやすく、便利な配置を心がけます。</p> <p>協働推進のために 審議会等の運営に当たっては、可能な限り「市民委員の参画」「会議の公開」「会議結果の公表」を推進します。</p>	
	市民・地域の行動	<p>市政情報の公開によって得た情報は、適正に利用します</p> <p>議員・議会の存在意義や果たすべき役割を正しく理解し、その行動に関心を持ちます</p>	<p>市議会議員になりたい人を増やす</p> <p>委員会なども積極的に傍聴する</p> <p>利害に関わるものから関心をもつ</p>	<p>広く市政に関心を持ちます。</p>	<p>行政運営の視点からの計画づくりであることを踏まえ、議会に関する行動は掲載しない。</p> <p>利害に関わるものだけでなく、広く市政に関心を持つことが重要であると考えます。</p>
	事業者等の行動	<p>企業や大学 市政情報の公開等によって得た情報は、適正に利用します</p>	<p>企業や大学</p>	<p>企業や大学 市政情報の公開等によって得た内容は、適正に利用します。</p>	
その他					

【行財政マネジメント】

行財政資源の有効活用		現案	市民会議意見	各再提案	市民会議意見対応の説明
目標		将来負担比率が適正に維持されている！	【複数の課で検討をすること】	将来負担比率が適正に維持されている！	検討の結果、経営の客観的な成果とします。
成果指標		将来負担率	将来のランニングコスト	将来負担率	客観的な指標により、的確な経営判断が行えるものと考えます。
協働のあり方	行政の行動	施策展開において健全な財政運営を行います	施策展開において転用可能な施設建設	施策展開において	意見を含んだ内容としました。
		ランニングコストを含んだ市施設の更新を行います	ランニングコストの適正な算出(重要！)	効率的な行政運営のため、人件費を含めたトータルコストを常に意識した上で、業務の遂行を行います。	
		適切な人員配置を行います	既存施設の有効活用		
	業務改善を図り、効率的な行政運営を行います				
	協働推進のために	協働推進のために	協働推進のために	協働推進のために	
		将来負担比率、草津は建物の立替時期でだいぶかかってくる(こういう問題を市民へ重く投げること)		市政全般のさらなる情報公開に努めます。	
	市民・地域の行動		公共施設は「つくる」と「やめる」の両方をイメージする(不要なハコモノの見極め)	行政から発信される情報に関心を持ち、行政資源が有効に活用されているかを注視します。	
	事業者等の行動				
	その他				

資料編

■平成21年度委員名簿と部会構成

部会名	策定市民会議委員	市プロジェクトチーム	
	氏名	所属	氏名
1. 安心・安全、 人権、環境	○宇野 彰一	危機管理課	古川 郁子
	恩地 美和	人権政策課	山本 陽一
	高岡 實	職員課	山際 喜一郎
	西川 由佳莉	教育総務課	木村 博
	畑 源	建築住宅課	平尾 聡
2. 健康・福祉、 教育文化ス ポーツ	岡本 幸助	社会福祉課	西 典子
	澤 孝子	教育総務課	河合 裕明
	白井 けい子	予算調整課	中立 輝
	谷 恵子	文化財保護課	岩間 一水
	権田 五仁	秘書課	岡村 美穂
3. 都市基盤	井上 美治	保険年金課	吉田 万里
	大久保 啓子	都市計画課	西村 新朗
	河村 完	道路課	福井 教之
	中島 紀昭	債権対策課	北相模 政和
	南 義彦	教育総務課	山岡 正明
4. 協働	池田 奈美	債権対策課	千代 治之
	◎大田 信光	税務課	三浦 絵美
	小河 英明	予算調整課	安藤 智至
	銭本 紀洋	納税課	村木 孝信
	廣畑 諭	都市計画課	錦織 明子

※◎代表 ○副代表